SHIN SHIN FUJIN

新眞婦人

十二月號

〔第三十二號〕

一般婦人論を直ちに個人的家庭問題に應用することが出來ません
婦人と海外發展
日本神代の女性
精神病物語
ヘマンズ、夫人の譯詩
アンニー・ベサント夫人
徒然草より見たる戀愛觀
本能の教ゆる健康法
英國婦人名登記と學士
福澤諭吉の婦人觀(下)
女性愛護の進化

西川文子
日本力行會長 永田稠
島貫しか子
法學士 朝日胤一
稜威教會長 川面凡兒
巣鴨腦病院副院長 多田碩男
中尾清太郎
記者
石澤久五郎
西川光次郎
からさは・じゆんせい
大月高陽
高野孤龍

大正四年十二月一日發行(毎月一回一日發行)大正二年四月二十六日
(第三種郵便物認可)大正四年十一月二十八日印刷納本

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

看護婦見習生募集

年齢十八歳以上
學力尋常小學卒業以上
品行方正ニシテ傳染病ヲ有セザル女子ニ限ル

院長診察 月、水、木、金、午前
林、峰間、兩副長ハ目下當院に在勤

東京麹町區三番町三十番地（市ヶ谷見附内）
電話番町六二番

東洋内科醫院

院長 醫學士 **高田畊安**

電話ちがさき二番

南湖院

相州茅ヶ崎海濱（従停車場半里）
河野、高橋、兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後。入院、診後應需

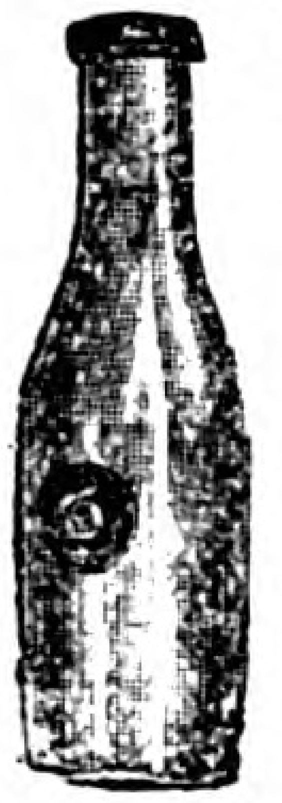
Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

◉一弊店の製品の信用盛なるを妬み卑劣なる類似品を強ゆる店あり御買入の節、植木製と御指圖被下度尚（植木製）貼紙に御注意願上候

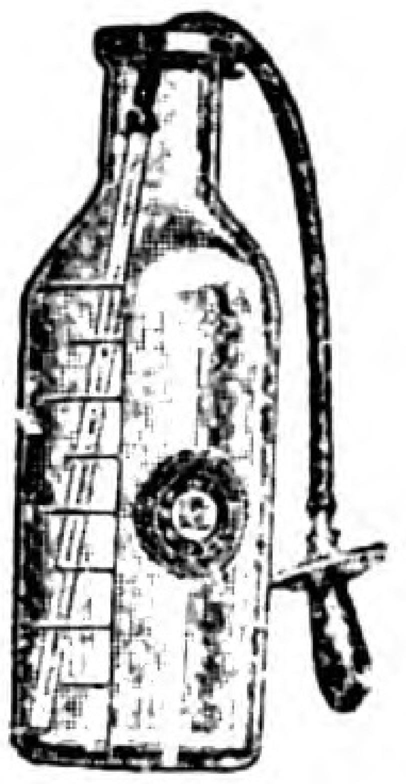
醫學博士

產科婦人科榊先生
小兒科瀨川先生
其外諸博士御愛用

專賣特許 植木式消毒罎



專賣特許 植木式哺乳罎

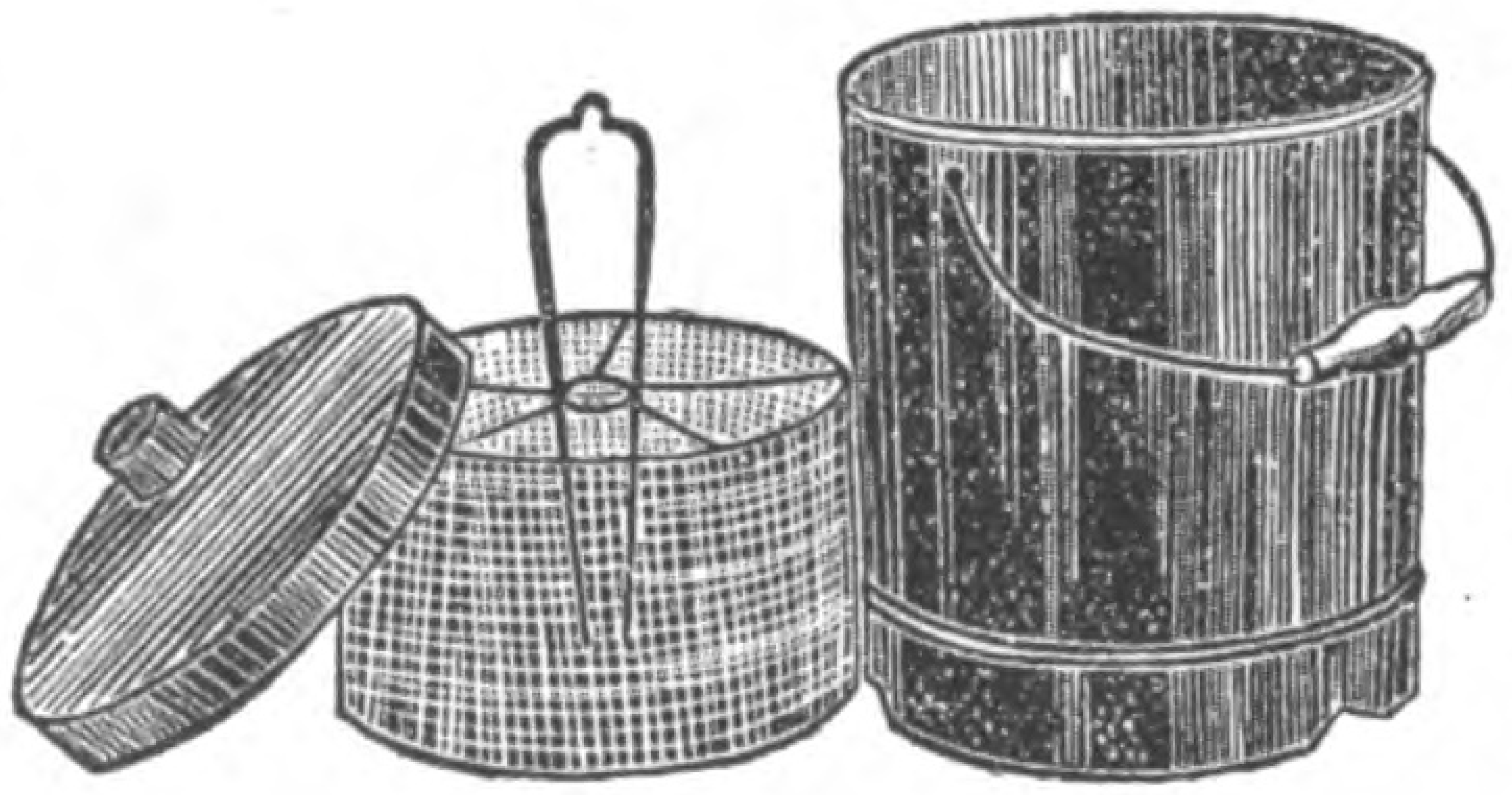


一號罎は品質精良割度正確なり

專賣特許 ゴム管いらず哺乳罎

ゴム管 夾み付罎

植木式 輕便防腐器
（ニッケル鍍金）
丈夫親切なる構造



三本用 一圓五十錢
五本用 一圓八十錢
六本用 二圓　十錢

◉最も便利經濟安全なる故諸博士の御賞賛を得たる

專賣特許 植木式アルコールいらず吸入器

正價 一圓八十錢

◎特色
安全
便利
經濟

以上各藥店にて販賣せり

東京神田區
表神保町壹
藥劑師 植木雄飛
電本三七五六番
振替六二九一番

十二月號目次

表紙（平和の家庭に咲く四季の花）菊地入峰筆
口繪（避姙思想の普及者アンニー・ベサント夫人）
扉（世界有名婦人の一ロイド・ジョヂ夫人）
更に一歩を進めよ　記者……（一）
一般婦人論を直ちに個人的家庭問題に應用するとが出來ません　西川文子…（二）
婦人と海外發展　日本力行會長　永田稠…（九）
　島貫しか子…（一〇）
　法學士　朝日胤一…（一三）
米國婦人記者に招待されて　文子……（一五）
私　からさは・じゆんせい……（一六）
舊き歌反古より　溪一路……（一七）
日本神代の女性　稜威教會長　川面凡兒…（一八）
精神病物語　巣鴨腦病院副院長　多田碩男…（二一）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ヘマンズ夫人の譯詩　中尾清太郎…(二四)

アンニー・ベサント夫人　記者…(二七)

鹿野山紀行　東大寺多代……(二九)

徒然草に見えたる戀愛觀　石澤久五郎…(三二)

本能の教ゆる健康法　西川光次郎…(三六)

英國婦人名登記と婦人學士　からさは・じゆんせい…(四〇)

父の死　近藤なほ子……(四四)

福澤諭吉の婦人觀(下)　大月高陽…(四五)

女性愛護の變化　高野孤龍…(五二)

婦人の婦人研究　ミトリ……(五四)

個人消息……(五五)

十二月一日發行

岩野清子氏著

愛の爭鬪

の

發行者

より

新眞婦人讀者諸君へ

□本書は、高級なる讀者にのみ、興味ある書籍也。或ひは、現代に讀者を有せずして、後代にそれを有するの書籍也。もし日本に其の讀者を有せずんば、世界にそれを有するの書籍也。

□本書は別居問題に對する辯明書にあらず。又、男性に對して、女性の權利を主張せんとしたる、法律の書にもあらず。本書は、實に智識ある女性が、智識ある男子に、愛せられて、愛せられざる、愛して、愛せざる、なやましさの記錄なる也。何故に本書は公にせられたるか、著者はいひ給はく『赤裸々な自分を投げ出し、其の幼稚な淺薄な缺點を、公衆の前にさらして、そして、その深酷な批判にまかすことは、今後の生活の發憤のしもとにならう』云々と。著者の人となりを評して、田中王堂氏はかくいひたり『彼れは我國に於て、覺醒した、言ひ換れば、現代の要求する生活の方針を創造しやうと努力してゐる少數なる婦人の一人である。彼の女は、常に自分の置かれたる境遇を正視し、自分の有てる力量を大用して、緊張した生活を營み、そして充實した品性を造らうと努力してゐるの人である』云々と。かくの如き母によりて生み出されたる書籍が、父とも稱すべきの人は、著者の良人泡鳴氏なり、氏は、半獸主義者として名高く偉大なる馬鹿を以て稱せられ、刹那哲學の創唱者を以て任ずるの人也。第三者として、本書を讀むものは運命の神が、二人を結ぶより、離すに到る迄の惡戲に對して、或ひは失笑を或ひは憤怒を、なすことなるべし、されど多くの場合淚を流して、その敎へらる所多きを感謝せざるを得ざるを信ず。もし、著者が、語調の正確筆力の雄健なるに到つては、愛誦三嘆も又及ばざるべく。發行者は、かくの如き名著を大いなる喜びを以て、新眞婦人讀者諸君にスイセンすると共に、各人の智識と經驗の程度によつて讀まるべき本書が、眞に諸君に依つて、其の有する限度までに讀まれんことを、希うてやまざるもの也。以上。

定價壹圓廿錢送料八錢

發賣元

東京 神田 東京堂

振替東京二七〇番

●安心して食べられる菓子!!

煙草代用

森永ミルクキヤラメルは

▲**現代製菓の四大要件**たる風味、消化、滋養、及び清潔を完全に具備して遺憾なき卽ち『安心して食べられる』代表的菓子なり。

■**森永化學試驗部**は丹波博士を顧問に仰ぎ、岡田博士指導の下に專任技師數名をして日々原料の檢査、性質の檢定、及び製品の鑑定を嚴蜜に勵行して品質を絕對に保證し且社會衞生の改善に資するを目的とす。

故に日々召上るお菓子は

此『安心して食べられる』

森永のミルクキヤラメルの

御愛用を乞ふ

此の商標

の付いてゐるのが安心の出來る森永の菓子です

ポケツト入
大 十錢
小 五錢

東京 大阪 **森永製菓株式會社**

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

株式會社 東海銀行

本店 日本橋呉服町
堀江町支店 日本橋堀江町
本郷支店 本郷三丁目
赤坂支店 赤坂田町
本所支店 本所龜澤町
京橋支店 京橋尾張町
三田支店 芝三田一丁目
淺草支店 淺草並木町

帝國貯蓄銀行
銀座二丁目河岸通（電話 京橋 八一五 八一六 三二七四）

飯倉支店 飯倉三丁目
赤坂支店 赤坂表町
四谷支店 四谷大通り
本郷支店 本郷一丁目角
神樂坂支店 牛込神樂坂上
吾妻橋支店 淺草花川戶
須田町支店 神田須田町
兩國支店 兩國元柳町
品川支店 南品川一丁目
橫濱支店 橫濱戶部町
代理店 日本橋坂本町田中銀行

◎一錢以上何程にても御預り最も御便利に取扱申候◎每月五日迄の御預け金は全月分の利子を付け申候

天台宗大學教授
日蓮宗大學教授
島地大等先生虔修

▲明治書院出版目錄贈呈▼

漢和對照妙法蓮華經

三六判全一冊　（クロス製天金）定價壹圓五十錢　（總革製三方金）壹圓九十錢　送料各八錢

法華經は獨り佛敎のみならず、道德、文學、藝術、其他日本民族の全生活に亘りて深大なる感化を蒙れる一大聖典也。本書は斯道の名匠島地大等師が、苦心の結果に成り、漢和兩譯を掲げて對照に便し共に總振假名を施し、殊に和譯は新に段落を設けて語句の排列に新意匠を用ひ、附錄として、（法華大意）（法華字解）（法華略科）を添へたれば、何人にも至便の書として好評嘖々忽ち四版を賣盡し今回五版に際して新に**法華歌集**八十餘頁を增補し、古來の法華經を詠せる短歌一千三百六十首を網羅す。希くは机上の珍とせられんことを。

金子薰園先生著

女子新書翰

全一冊　定價金三拾五錢　送料六錢

女子の書翰文は女子の心の姿なり、心の聲也、本書は之に基き新時代女子の各人各樣の箇性を發揮せる文例を示すこと頗る豊富、文語體あり口語體あり、其の事其の場合に應じて書き方を異にす。一讀直に自己の心境に觸れ、書翰の天地自由に開け行くを覺えむ。尙別に**練習法**を添へて何人も自由に書き得らるゝやう實地の指導に努めたり、本書出でゝ女子の書翰文は大成せりといふべし。

東京神田　株式會社　明治書院　振替東京四九九一番　電話本局二四三八番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

宮内省御用達

最上醤油元祖

ヤマサ醤油

開業二百七十一年

醸造元

濱口儀兵衛商店

千葉縣銚子港

避姙に關する思想の普及者、現靈智學會長

アニー・ベサント夫人

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

天下無類の廉價!!優美堅牢!!便利重寶

年末年始の贈答品として續々大部數の注文あり!!

用紙は上等純白を用ゐたればペンで書くも筆で書くも更に泌み出ることなし。

綺麗で丈夫で氣が利いて便利重寶なれば一年使ふも飽くことなく破れることなし。

東京地圖を添附す

大正五年 婦人日記

實業之日本社の提供する日記は何れも多年の經驗より年々改良に改良を加へ、非常の好評を博し來れるが、飽くまでも購求者各位の便利を念とする本社は至誠努力、明年度よりは各方面に新意を出し、完成を期したれば願くは各位の期待に背かざるべきを信ず。殊に婦人日記は天下三十萬の愛讀者を有する我婦人世界が苦心の餘になれるもの苟くも婦人必須の條項は悉く之を網羅す。

定價參拾八錢
郵税八錢
四六總布上製美本

家計簿兼用の日記

大正五年 懷中ノート

●特製總皮天金袖珍新型 定價三十錢(郵税二錢)
●並製總布金文字携帶便 定價二十錢

本社發行の懷中ノ、トには二種あり。特に本年は大部數を印刷せるも頗る好評にて忽ち品切れとなりさら也。速かに求められよ。

▼日記と手帳兼用▲

大正五年 重要日記

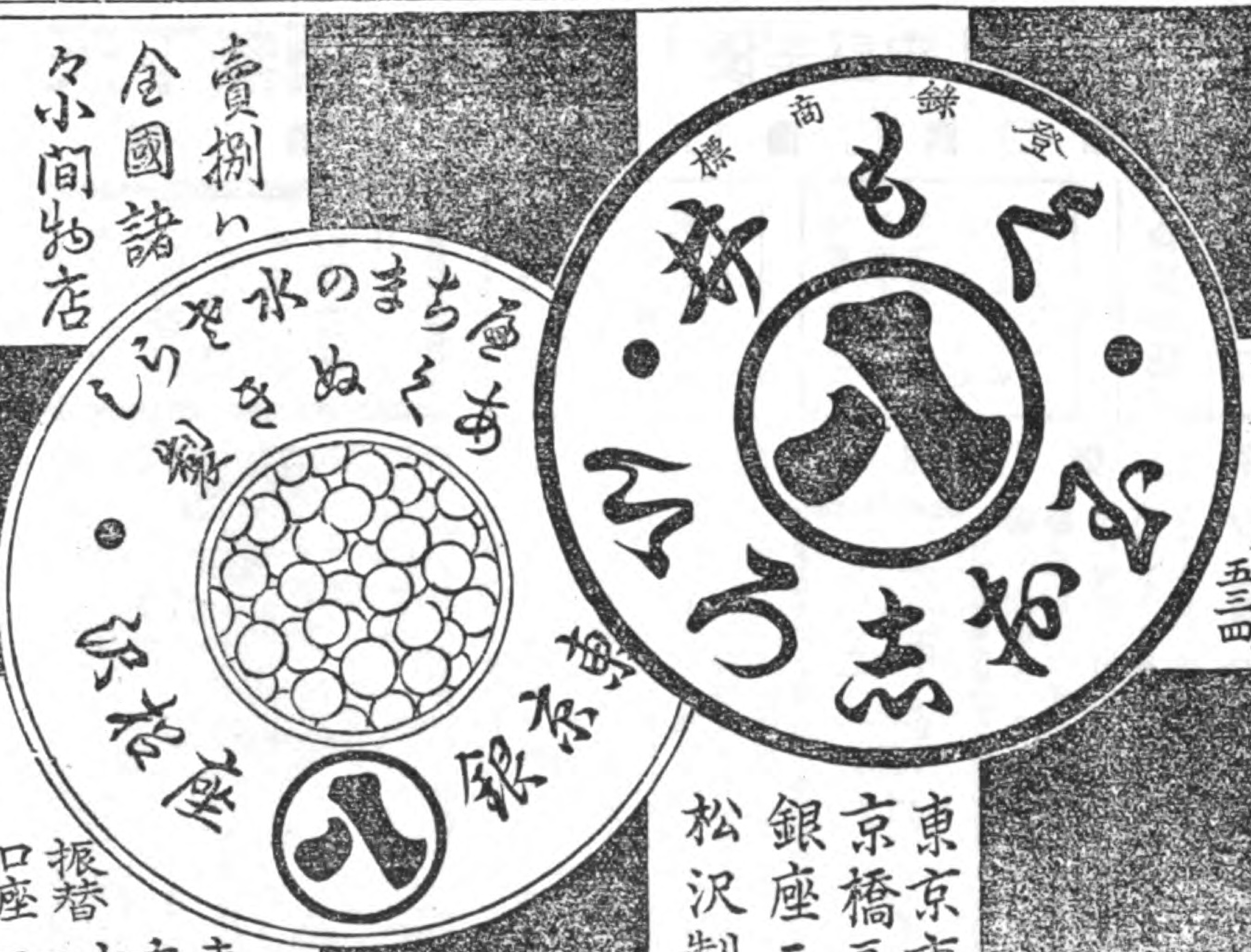
●定價四拾錢●郵税八錢●四六總布美本

▼本日記の新特徴!!

更に明年度よりは毎日『昨年の今日』なる欄を設けたれば、本日記を繙く時は直ちに昨年の其の日の**溫度、天候、期米正米の値段**及び其の日の**出來事**を知り、日記を繙くことが興味を呼び、知らず知らず日記を繼續する助けとなる。一度店頭に立ちて本日記の特徴を他と比較せらるゝ各位は一目直ちに本日記の優秀なるを認めらるゝならん!

發兌 東京京橋南紺屋町 實業之日本社出版部 振替口座東京三二六番

賣捌ハ全國諸々小間物店



電話京橋五三四、

東京市京橋區銀座三松沢製

振替口座東京七二四

檀那様奥様まあ一御覽遊ばせこんなよいご本が出來ました今度新に

發行になりました小原文學士の著で家庭人事顧問と云ふ本であります實に美本で箱入で價はタッタ七十五錢實におやすい本です年末年始の贈答などにはもらつた方ではどんなに重寶がられるか知れません、まあ一寸内容を御覽遊ばせ、奥様。姙娠出産、育兒等の心得より誕生、七五三のお祝の心得から家庭敎育だの子女就學の心得から徵兵に關する心得婚姻に關する心得葬儀に關する心得お正月より歳暮の事迄毎月の行事がすつかりあり升。あら檀那様も奥様も御覽遊ばせ社交上に關する心得だの服装の心得だの洋食だの日本式などの宴會會席等の心得もあります、家庭の自療法としてまあいろいろの手當法がありますそれに天災だの危難に處する心得だの日數早見滿年求月表など迄あります

奥様之是非これは一冊求めて置いて下さい家中の重寶で座い升。こんな便利の本は實に珍らしう御座升新眞婦人讀者は送料不用

東京市神田區錦町一丁目十六番地
振替東京三四〇九　電話本三七一七
一松堂書店發行

本品は畏くも
皇后陛下を初め奉り
有栖川宮兩妃殿下　梨本宮妃殿下
伏見宮妃殿下　朝香宮妃殿下
閑院宮妃殿下　東久邇宮妃殿下
東伏見宮妃殿下　北白川宮妃殿下
華頂宮妃殿下　山階宮妃殿下
久邇宮兩妃殿下　賀陽宮妃殿下
竹田宮妃殿下
以上各　宮妃殿下舉つて御嘉納の榮を賜はりたり謹んで玆に感謝の意を表し奉り併而本品愛用者各位に此光榮を頒つ

御後援
二條公爵閣下
土方伯爵閣下
大原伯爵閣下
鍋島侯爵令夫人御詠贈

外國の人もきそひてためすらむ
ならぶもののなきこの化粧水
榮子

光榮無上

ミルド化粧液

ミルドは普通の品と違つて博士や學士が澤山集まつて研究創製した學理的の新化粧料ですから之を用ふれば顔の色を白くしキメを善くしてアレや日焦を防ぎ見違ふばかり美化する偉力を具へて居ます、されば今東京に於ては畏くも高貴の御方々を初め奉り各貴族の御家庭に於いて盛んに御賞用遊ばされつゝあります

全國到る所の化粧品賣藥小間物店に販賣せり若し品切れなれば直接注文あれ

東京　ミルド商會

責任證明
小久保醫學博士
臼杵醫學博士
合議創製
安齊醫學士
瀧原醫學士
吉田醫學士
神谷藥學士
望月藥學士

●日蔭蔓　古代式の新年胸飾

■日蔭蔓は我國にて太古より祭式又は祝日等に用ゐられたる深き由緒ある一種の氣高き神秘な蔓にして、山又山の奥山に稀に生じ、其緑のゆかしき色はいつ迄も褪せず、之を人々の體に付け居れば、惡氣をはらひ福徳壽を得て、圓滿な平和な家庭を作りて愉快に安心に幸運を得らるゝ芽出たき瑞草で(神道名目類聚鈔)今回の御大典奉祝にも名ある家々に用ゐられたものであります、今之を圖の如き幣帛形に作り之に古鏡に倣ひて光まばゆき銀色の鏡と五色の絹の玉串を纏ひ、本紙愛讀の方々の左のお胸に飾り、大正五年の御幸福を禱りたい婆心であります、又この日蔭蔓は新年の贈物としては古今一品にして、其高尙な事、優美な事、敬虔な事は恐らく何物も之にまさるものはありますまい、殊に目方は至つて輕いものですから、年賀狀や歳暮のお手紙と共に封中にしてお贈りになれば、先方のお悦びは如何ばかりでせう、又贈る人、受けらるゝ方御双方の品位を高めらるゝことも如何ばかりでせう。

▲一總送料共三の錢切手五枚

▲十總以上は一總に付金十錢

(注意)原料に限りあり餘り多くは御注文に應ぜられません、お早く御申込を乞ふ、又學校團體、其他小賣、行商等をなさる方へは特に割引の御相談に應じます。

東京市神田裏神保町七番地
振替東京三一一二七番

謹製發送元　大森　敬白

農商務省新案特許第三三九六七號 ●最新發明美顔器械 美顔器

器械の作用で美顔となす

これは農商務省から特許になりました美顔器といふ新發明の器械であります、空氣の力を利用して皮膚の汚物を取り去り、同時にマッサーヂをして血液の循環をよくし、生々としたお美しいお顔にします、その上自然的に特効液を流出せしめて、キメをこまかにツヤをよくし、それから、本器械接續部の一種の作用でニキビ、ソバカスなどを速に治します

この四ツの作用でどんな醜いお顔でも見ちがへる程色白くお美しい櫻色のお顔となりますそれで人手を借りず御自分で簡易に御使用が出來まして、何とも云へぬよい心持であります、この器械を用ゐて美顔術を開業してゐる者もある程で、東京では目下非常の勢で流行し始めました、皆樣御承知の通り如何程服藥したり又塗藥したりとて容易に効能が見えませんが、此器械の作用は一種特別で其利き目のある事は試用せられた方の保證せらるゝ所であります、それで器械の製造も間に合はぬ程ですが愛讀者の方に限り實物廣告として、一個送料共特効液附屬で一圓九十五錢、特製は二圓六十五錢海外は外に送料二十二錢

東京市神田裏神保町七
振替東京三一一二七番

發賣元　一貫社

產科
婦人科

篠田病院

（入院隨意）

女醫 篠田せい子

本郷區丸山新町

電話下谷四〇六八

リウマチス

▲難病にてあらゆる療法効なく御困りの御方に不思議に早く治る弊店家傳の……秘藥を御報らせします、御全快の皆樣から日々澤山の感謝狀を下されます

東京市淺草觀音
仲見世。天勇横通

井筒屋油店

電話下谷……三一五番
振替口座一九六五二番

皮膚科　梅毒科

泌尿器科

腎、膀胱、尿道、睾丸、攝護腺ノ疾患

生殖器科

男女生殖器機能障害

婦人科

日本橋區通二丁目白木屋出口前

電本局三九八〇番

中嶋醫院

院長 ドクトル メヂチーネ 中島鎌太郎

新設 芝區田村町十三番地愛宕下町通り

中嶋醫院

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

曹洞大學教授　忽滑谷快天先生評釋

和漢名士參禪集

和漢の聖帝賢臣名僧碩學が參禪の佳話悟徹の美談を蒐めて一々これに辛辣の批評を加へ以て學道の正路を示し在家參禪の資糧に供す讀者これに依つて先德の鉗槌に接し古聖と禪を商量することを得む

四六判假名附　定價壹圓　郵稅八錢

笛岡凊泉先生著

美人禪

加藤咄堂先生
高島米峰先生　推讚

加藤咄堂先生曰はく「戀に泣く美人が嬌態を寫して佛々祖々の玄機を語る文に艶冶の趣ありて想に超脫の旨を存す孰れか禪孰れか戀「美人禪」の一書讀み了りて轉ゝ恍惚たり」と

四六判假名附　定價壹圓　郵稅八錢

東京小石川區原町
貯東京一五六八六
丙午出版社

東京小石川原町
貯東京一三五三
鷄聲堂

最新刊

夫は買ふべし!!
妻は讀むべし!!

何れの家庭でもなくてならぬ本

家庭の寶典生る

家政研究會々長 新倉良三先生著

直ぐ其の日から役に立つ

家庭 日々の經濟法

洋装頗美本 三六形三百餘頁

正價金七拾錢 送料金八錢

東京京橋區南鞘町二九
興成館書店
振替東京二七九八八番

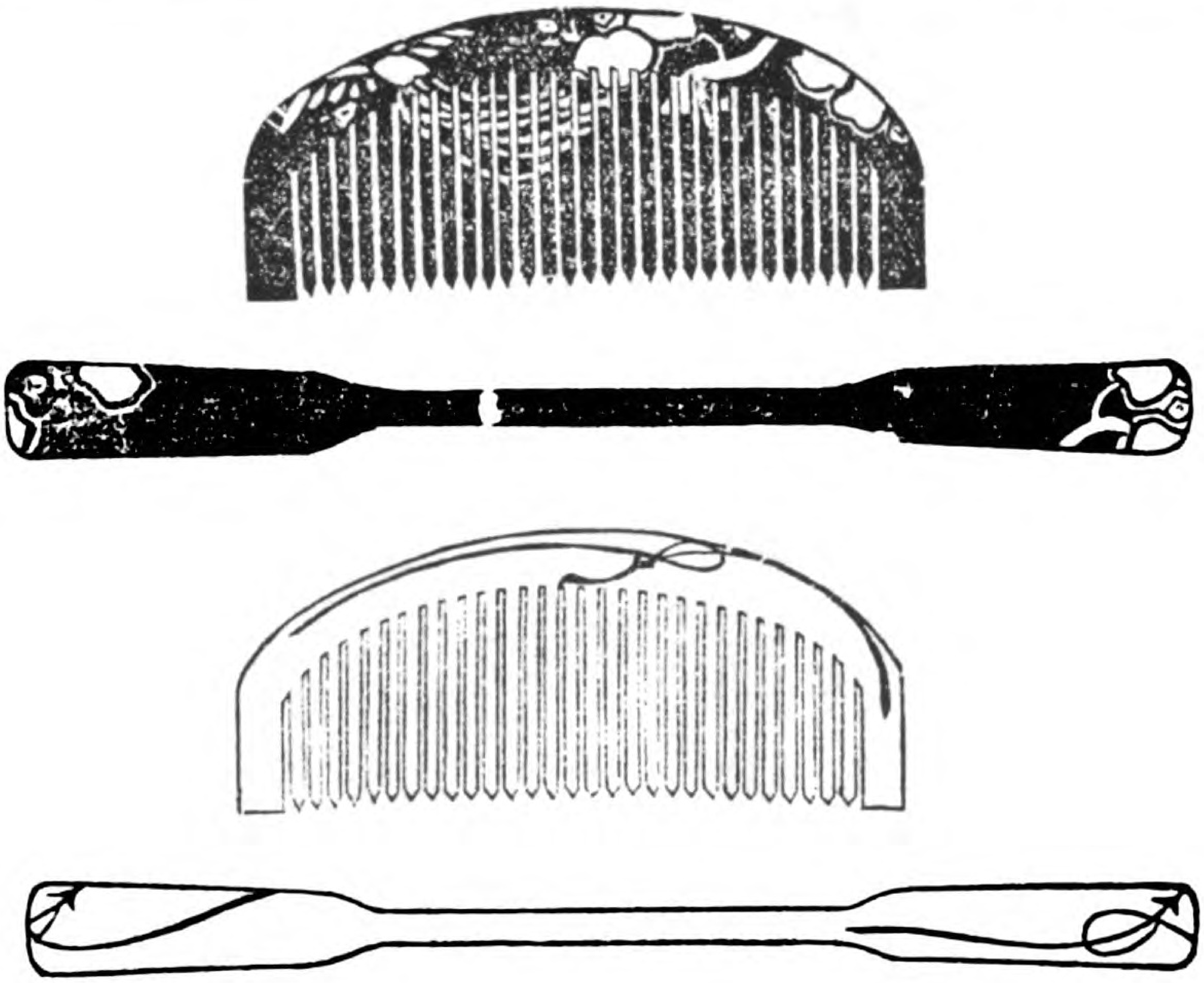
大好評湧く

が如し。

一家の主婦たる方は新しい智識のもとに如何にして日々の經濟を計つて行かれるか。一家團欒の食卓には最も安い調理をうまく味はへる事が出來やうか、本書は女として務むべき、守るべき事 一家を整へる妻として是非知らねばならぬ總ての事を、實際と經濟を基礎とし著者が最新の研究により極く手輕に其の日から實行出來る樣分り易く編述したれば、坊間濫出の類書と異り一般の家庭で何人も讀まねばならぬ本であります。內容は臺所經濟法から廢物利用法、煮物の秘傳から漬物の上手下手、和洋總菜料理法から原料の選擇、改良洗濯法から色染しみぬき法、最も効能ある家庭療法から藥の調合法、藥と病氣の關係から衞生育兒看病交際、女として知つて置くべき法律及公の手續、物品貯藏法より保存秘法等其他數百の科目は皆之れ一々實際から割出した一字千金の活文字ばかり。

本書一日後るれば三日の損あり本書の代價は一科目の實行に依つて償はる

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



▲春に向ふ櫛笄

春に魁けて、今年は上に畏き御大禮の行はせられまするにつれ、圖案意匠にも專ら、奉祝の趣を含みましたる模樣多く、本店特製の丸髷用、櫛笄にも、之に則り、(一)黑鼈甲製桐に鳳凰芝山入模樣櫛笄價二拾圓　(二)白鼈甲松葉模樣芝山入櫛笄價三十八圓以上の他、此種の品々數多く調進いたしてございますれば、何は兎もあれ、本店に就いて、品々御高覽のほどを願ひます。

東京銀座尾張町

白牡丹本店　松田幸治郎

(電話新橋五四五番・五五五番・振替口座四三九七番)

新眞婦人

十二月號（第三十二號）

更に一歩を進めよ

「博覽會の上棟式や、橋の開通式などの時に、藝者に手古舞などをさせるの風は、不都合である、早く之れを廢止すべし」と、本誌が叫んだのは、大正二年十二月號に於てである。私共の此の叫びが或一部の人人に反響して次第に大きくなり、廓清會などが大典に際し之れを高聲に叫ぶに至つたことは、私共の大に悦こぶ所である。私共は茲に又率先して云つて置きたい、廓清會あたりが、朝野の名士に向つて『貴下は今後藝者の出る席へは出ぬと誓はるゝや』と云ふ質問を發し得る日が、一日も早く來ることを望むと云ふことを。

世界有名婦人の一
英國大藏大臣ロイドヂョーヂ夫人

女權の擴張婦人權利の擁護と云ふことに就ても、近來は喧ましく云ふものが增えて來た。私共は率先者の一人として之れを悦こぶ。而して之れを悦こぶと共に、茲に又率先して一言して置きたい。婦人權利の擁護と云つても法律や新聞雜誌の擁護し得る範圍は知れたものである、一歩を深く踏み込んで云へば、婦人の精神問題となつて來たと云ふことを

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一般婦人論を直ちに個人的家庭問題に應用することが出來ません

西川文子

左は一讀者と私との問答を書いたものであります。

先生、私は此頃或親友に左の樣な相談を受けましたから、かう云ふ返事をしましたが如何でしやう。其親友は數人の小さい小供を遺されて妻君に亡くなられた人に懇望されて結婚したのです。其後十年間面倒に面倒を見て來た今日珍らしくも自身に子供が出來たのです、小さかつた先妻の子供も今は十三が最少で長子は二十歳も越して、やつと手がかゝらなくなつたのです。

友はかう云ひます。これから私も少しは樂が出來面白くならうかと思ふのですが、事實は反對です、十年間もだまされてゐたのかと思ふと悔しくて堪りません、さも大事相にちやほやしてゐたのも皆小供の世話がして欲しかつたからなのです。私が姙娠して數ヶ月すると、夫は或婦人と關係しました、其の婦人が同棲を迫ると、とても小供が多くて君にはやり切れぬと云つて斷つたと白狀しました、其の後私が出産して數ヶ月もすると私を出て行けよがしにいぢめて〳〵仕方ありません先妻の小供ももう小守位は出來、手代りにもなり役に立つものを、夫はどう思つてか、皆小僧や小間使や學校にやつて外に出してしまひました、そして私とはどうあつても別れやうと云ふのです。父を早く亡くした私は此子を父なし子にしたくないと思つて、いぢめられても〳〵聞かぬふり見ぬふりして平氣をよそほつて今日まで來ました、まして兩親の承知しないのを無理に此子が出來たので昨年やつと入籍したのですから離緣などはどうしても出來ません、それを夫はどうあつても離緣しやう、しないならば、せめて別居しやうと迫るので、近々別居する事丈け承知しました、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一體どうしたものでしやう。』

と、私は『そんな馬鹿〳〵しい事は決して承知なさるな、裁判沙汰にしても、損害賠償を取つて、貴女とお子さんと安全に生活の出來るやうにしなければ、決していぢめられて居づらひからとて逃げ出したり、迫られるままに別居をおいそれと承諾なさるな』と云つて序に御社をよき後援者として紹介しておきました、日頃婦人の權利を擁護するのを主義主張としてゐらるゝ先生方よどうか救助して上げて下さい。

之れに對し記者は斯く答へました。

コンナ事件が世にどれ丈けあるか知れません、私もそれ等の夫人が夫から離れても少しも困らないやうに、職業を與へる事の出來る樣に、(例へば鎌倉時代の緣切り寺のやうに、)婦人俱樂部を設けたいと思つてゐます。けれどもそれは萬方手を盡しても如何する事の出來ぬ萬止むを得ぬ場合の非常手段とも云ふべきもので、其の爲めにそれ等の婦人を幸福にする事は出來ません。よしんば經濟問題では解決されても、人情、愛情の上からは、解決されるものではありません。父を失つた子、夫と離れた夫人の愛の疵がどうしてそんな事で癒やされましやう。或場合婦人はもつと高い立場にたつて、夫の母ともなり、姉ともなつて、喧嘩の渦に卷き込まれないで超然とした態度で、折角面倒を見てゐる自分が居てさへこんな事になつたものを、若しもこれから自分が離れて信用も出來ぬ遊び女などに任せては、愈々墮落さすばかりだと、自任自重しなければなりません。又第一夫に愛が失くなつても妻君に眞實愛情があれば離れられぬわけです、それほど眞心ある眞情を以て盡すものに徹頭徹尾惡意を持つ事はどんな人にでも出來ませんやはり婦人の方にも愛の缺乏した爲めにさうなるので、半分の責は負はなければならぬと云はれても仕方ありません。

先生それでは、どこまでも忍べ〳〵盲從せよ、服從せよと仰しやる、古い昔のまゝの婦人修養談と少しも異らないぢや御座いませんか。

いゝえ違ひます、私の云ふのは本當の深い愛の泉か

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ら自然に流れ出るので、根本にはなくてよそ〳〵しい親切を盡したり、形式丈け三つ指で仕へよの、盲從せよの、と云ふのではありません。生活と取りかへつこ位にしか考へてゐない小乘的愛情ではなく、大乘的愛情を云ふんです。

先生、ではやはり婦人の權利とか自由とか云ふ事はいらないんですか。

い丶えいらない處ではない、一般に婦人問題として論ずるには大に婦人の權利を擴張し、擁護しなければなりません、併し家庭問題、個人問題、夫婦關係となるとそんな一般論を直ちに當てはめる事は出來ませんもつと深い道義、人情、宗教の立場から論じなければなりません。だと云つて宗教家敎育家の修養談のみを有がたがつて私どもの說く樣な婦人論を不必要である如く云ふのも理由なき事です、何故なれば、そこまで解らない人や、家庭問題でなく、社會問題としては政治、經濟、法律の立場から取扱はなければならぬ事がまだ〳〵澤山ありますから。

先生、では前の友人の樣な場合にはどうすればよいと仰しやるのですか、具體的に數へて上げて下さい。

先づ夫人自ら自己を知るのです、先方の出やう仕向け樣を云々せず、自己に愛情の足らぬ所はないか、自己の性僻に夫を困らせる所はないかとの樣に、自己を省察することが必要です。そして一方夫の方がいらいらして心もむしやくしやしてゐるのですから、そこへ夫人もヒステリックに出た日には喧嘩するより外に道がないのです、か丶る場合決して喧嘩の仲間入はせず、平氣で平日のやうに、家事や育兒にまめ〳〵しくしてそれ處ではない樣な顏をしてゐるのです、又喧嘩をして、ものも云はずにゐると云ふ人がありますが、其事件については成丈け忘れさす樣に口にしないがよろしいが、他の事は務めて多く語り合ふ樣にするのです。そして全體に明るい〳〵顏をして、快活に無邪氣で居るのです、すると夫と雖も恥かしくて低級な事は妻君の手前、出來ぬ樣になります、其の中に橫合から飛出して來たものは一時的のものですから、やがて過ぎ去

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ります、自ら弱者の如くあわてうろたえてはなりません、さうしたふら／＼した男子は夫人の力によつて守つて行く、夫の地位も職業も監督してゐる位のつもりにならなければなりません、夫の爲め、家の爲め、子供の爲めには自分と云ふものは無くてならぬものと云ふ重い責任を自覺し、且つ事實の上に其の實力を現はれなければなりません、かゝる重大なる夫婦關係を社會に公表したり、新らしい道を開く爲めに犧牲になるなどと芝居氣を出すべき性質のものではありません。舞臺で演ずる芝居でさへ大向の拍手を當てにする樣では決して眞の藝術にならないと云ひますのに、眞劍の夫婦關係の如き重大事を茫漠たる社會を的に一々公表すべきものではありません、どこまでも、自己と夫と子供との將來を幸福にする爲めに如何にせばよきかを愼重な態度で考へなければなりませぬ。貴女の樣に一時の感情によつて起訴をすゝめたりしてはなりません、よしんば法律で勝つたからとて、金は取れるかも知れないが愛情を取かへす事は出來ません。形式はつまらない樣でもなか／＼あなどられぬもので、情人として愛がある樣でも、夫婦生活にはとても及ません、少しの事があつたからとて別れて了へばそれでお了ひです。形式丈けでも夫婦生活をしてゐれば、誰れがとがめるわけでもないからどんなに親しくしやうと自由ではありませんか。どちらかがつまらぬ意地を張らずに打解けてかゝれば、それほど内心から仇かたきのやうに憎み合つてゐるのでないから忽ち睦じい元の夫婦となるのです。

先生、今一人私の友人に先生の只今仰しやつたやうに、夫の不品行を平氣でどん／＼家政を取つてゐた婦人があります。其の中に夫は他の婦人に關係して子供まで出來て了ひました、そして其の夫はもつと早く妻がやかましく云つて、自分について歩く位にしてくれたら、こんな失策はし出さなかつたであらうにあまり妻が寛大であつた爲めにとんだ失敗をしたと後悔をしてゐる人があります、これはどうしたものでしやう。

いゝえ其の妻君は寛大であつたとは決して云はれま

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

せん、冷やかで情愛が足りなかつたからです、男の放蕩は我儘から來るので無論惡いけれど、或場合一部の責任を婦人も負はねばなりません。

先生永い夫婦生活の中には、互に同化し合つて興味が無くなるから、變化を好む男は他に心を移すので、然かもその方が度々若返つて怜悧な生き方では御座いますまいか、それを婦人は因襲的婦德に束縛されて、やうしないのではないでしようか。

同化して興味がなくなるのは事實でしやう、けれどそれは毎日食べるお飯が珍らしくなくて、たまに食べるそばやおしる粉が甘しいのと同樣で、その中には平常のお茶漬がどんなに戀しくなるか知れません。眞の深い愛情の湧いて來るのは長い夫婦生活の後でなくてはありません。

結婚當時は他人も自己も樂しいものときめてゐますが、それは只淺い淡いもので華やかではあるが深刻ではありません、でこんな事を云へば笑はれやうか怒られやうか、喧嘩をすればもの別れになりはすまいかと云ふ懸念が混じつて居ます。一方にはそう云ふ心持ちが懷かしく戀しく思はせるのでしやうが、何もかも知れ切つて來るとそんな恐れもなくなるかはり興味もなくなります、その代り落ついた骨肉のやうな關係になるのです、初めて遠慮のない寛いだ安住の住居が出來るのです。

先生、娘時代の親の家にゐるのは何の遠慮もない安住の住居ですけれど、いろ／＼と不平を抱いて居ります樣に、家庭も落つきの出來る頃はもう駄目なのではないでしやうか。

いゝえ親の家と、自分の家とは違ひます、今度は好奇心や興味ではなく、深い基礎、將來の希望と云ふものが湧いて來ます。

先生、氣の若い男にはそんな地味な年老いた事が嫌なのかも知れませんね。

それは家庭と云ふものがいつまでも二人きりで若く單純なものならいゝでしやう、けれど夫婦生活をすれば子供が出來るのが當然で、小供は男一人のもので

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

も、女一人のものでもありませんから、子供に對する責任と云ふ事も考へなければなりません、いつまでも放浪の生活を樂しんでゐる事は出來ません。

先生もう一つ不思議な事には、結婚時代に戀の愛のと云つた家庭に限つて、數年の後夫が放蕩し出してすつたもんだが始まりますが、これはどうしたものでしやう。

それは始めから放蕩な男子と結婚する樣な婦人は、男の放蕩はあたりまへだと思つてるから、問題にしないのです、處が自由戀愛だのクリスチャンだの理想だので一しよになつた人は、婦人の驚きもひどいし、夫も一言の下に叱り飛ばしておくわけに行かないから大問題になるので、まだそんな男子は殊勝な方なのです。

先生、そんな場合にも婦人の權利を主張したものでしやうか、夫を許したものでしやうか。

夫人は只自分の腹立ちからや權利義務からでなく、全く夫を救ふのだと思つて、意地を捨て無我になつて無邪氣に夫の全部を自己に引きつけて了ふのが必要です。かゝる場合夫人自らさへさう惡く思はないのに、まして後ぐらい事をした夫が憎く思つてゐる道理はありません、それを愛想よく待受けやうと思つてゐても、夫の顏を見ると、ついつんとすねて見せたりするから、あやまらうと思つて歸つた夫もぷんとして又出て行く樣な事になるのです。

それについて不和な家庭を睦じしくてお上げした私の實驗談を一つ二ついたしましやう、或夫婦は喧嘩して、ものも云はないでゐられましたが、私が度々訪問してお夫婦の興味を持たれる話題で話をしましたら、それが導火線になつて爾來其の御家庭は圓滿になりました。直接其喧嘩の原因などについて語るのはまずい事です。

又或家庭では何事も夫が許さないからと云つて內祕內祕でなさいました、一家の中に祕密のあるのは惡い事ですから、私は出來る丈け改めてお上げしたいと思つて、不言不語の中に御夫人の位置を夫君と同樣に認

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

めさす爲めに、夫人の來客を大びらに迎へたり、歌舞伎や帝劇にも良人と一しよに出かけられる樣におすゝめしました、處が最初二三度は御良人も變に不快に思はれた樣ですが、だん／＼馴れて見れば決して惡い事ではないし、立派な夫人の友人を見て夫人の勢力も認めらるゝ樣になり、結局御良人も藝妓をつれて行くよりも夫人と同行せば後々への話の種にもなり面白くなつて來て、これまで十數年來も夫人を社會と沒交渉にしておいて話相手にしなかつたのは、夫人の爲めにも子供の爲めにも御自分の爲めにも、大變な損害をした事をお悟りになりました。御夫人は此頃では何々の會へも盛に出られるし、社會問題なども云々なさいます。醫師の夫人だからとてまさか往診には一しよにも出かけられませんし、辯護士の夫人だからとて裁判所へも御一しよにと云ふ事は出來ますまいが、遊び事位はせめて一しよに出かけた方がよろしい。

個人的家庭問題はそれ／＼個々別々に扱はなければなりません。臨機應變の處置が必要で、政治、經濟、社會、法律問題などの一般論でも解決されません、もつと深い宗敎、道義人情の機微に基づいて解決しなくてはなりません、つまりは個人の修養と云ふ事になるのです。（十一月十六日朝）

秋の瞑想となやみ

神澤理一

すすきかるかやをみなめし、虫も鳴くがに曇り日の朝
そら曇り風さやさやながるれば、いづちともなく虫なきやます
みればとてわが瞳になにの映ろべき、かなしきひとをおもふまじぞよ
ひたすらにおもひつのりてきみもまたあやぶく 秋日たちゐすうむか
いちみやくのかなしみほそぼそながれやます、なへども／＼みぬちさらずも

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人と海外發展

日本力行會長　永田稠

男子の間にありてすら、海外發展に就ての思想が、尙は頗ぶる幼稚な今日の事であるから、婦人の間に海外發展に就て考へる人の少ないのは、少しも怪しむに足らぬことである。

けれども、第一には、高等女學校を卒業した程度の婦人は、何れ高等教育を受けた男子と結婚せねばならぬが、さて高等教育を受けた男子、縦ひ大學を出ても、其の多くは收入が至て少ない、小供の二三人も出來れば、ナカ〳〵困る、此の事の知れて來たことから第二には田舍で大地主の家にでも結婚すれば生活の方は心配がないが、舅姑と折合ふことが容易でないと云ふ事から、內地にありて結婚に失望し海外へ行きたいと希望する婦人が、近來ダン〳〵増加して來た。

而して一方向ふの、即ち米國加州に在住して居る同胞はと見れば、成年の男、四萬二千人に對し、成年の女子約一萬で、約三萬二千の獨身者がある樣な次第です。之れ彼地同胞の間に、料理屋、淫賣婦、賭博、飲酒などの惡風が盛んな所以である。ソレでどうかして內地の海外行を希望して居る婦人を、成る丈け多く海外へ出して、海外在住の我が同胞に善き半身を與へる樣にしたいと云ふのが私共の切望して止まざる所なのです。

何分にも、外務省の方針が旅券を渡すまい、渡すまいとするにある上に、親達がナカ〳〵手放しませんので、思ふ樣に行かないが、ソレでも嬉しい事には、婦人の海外渡航が次第に增えて來た。昨年の調査によれば、過ぎし一年間に桑港へ上陸した日本婦人の數は八百人だと云ふことです、若し之れに同年間にシャトル

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

タコマ等へ上陸した日本婦人をも加ふれば、千三四百人になりましよう。其の爲め既に、彼地にある日本人相手の料理屋などは衰微して來た、之れには他に原因もあらうが、婦人の渡航者が増えて、正しい生活をする同胞の増えて來たことが、確かに最大の原因である。

南米ブラヂルの政府は、家族移民に對してでないと移民としての恩典を與へない、ソコでブラヂル在住の日本人は家族携帯のものばかりである。其の結果、ブラヂルにありては同胞の間に一軒の女郎屋もなく、一個の賭博場もない、之れを以ても、正しい婦人を海外へ出して、在外の同胞に健全な家庭を拵へさせば、移民事業が正しい發達を爲すと云ふことが知れる。

私は政府の方針が、正しい婦人の海外渡航を奬勵すると云ふ風に傾くことを希望すると共に、日本婦人の間に夫と共ならば何所でも行く、天涯地角、何所に於ても溫き家庭だにあらば滿足であると云ふ考の、發達せんことを熱望して止まざるものである。

千人の家族を拵へたい

島貫しか子

（一）

「婦人を渡米せしめて、在米同胞に適當な配偶者を與へたい」と云ふことは、島貫の念頭でありましたので私は遺志を奉じて、此の事に微力を盡して居ります此の世話をしてます内に、私も時々アチラへ行て見るの必要があると感じまして、昨年今頃彼方へ參りました。其の前に、私と一緒に渡米することを希望する婦人を募りたいと思ひましたが、廣告するのも如何と存じ、女學世界の記者に話しました所、其の事を一枚

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ばかり書いて呉れました。「婦女界」「婦人之友」なども書いて呉れ、新聞も書いて呉れました。其の結果二ケ月の間に、大凡三百の婦人から同行渡米の申込がありました。私は此の中から七十名を撰びて同行しましたが、此の中三分の二位は、私の懇意なものでしたからホントの應募者の中から取つたのは、極く僅かなものでした。

（二）

此の旅行の結果、彼方へ行く婦人には、身體強健で勞働を厭はぬ事、語學の達者な事、及び意志の強固な事が、何によりも大切である事を、私は一層切實に感じました。

何せと云ふに、彼方では女中がないし、あつても大成功者でなくては女中は置けませぬ。又小供を預けると月に十五弗、二十弗も拂はねばなりませぬから、二人や三人の小供は自分で世話しながら、御飯たきもしなくてはなりませぬ。其の上に收入を計らうと云ふには、貸間をして獨身者を置き、其の御飯たきまでもせねばなりませぬ。日本に於てよりは、萬事設備がよいから比較的に骨は折れませんが、ソレにしても、並大抵のことではありません。

若し又夫が農業者であるとすると、小供の世話、雇人の世話、其の上に、家畜の世話もせねばなりません私の知てる木本夫人の如きは二人の小供を世話しながら、家族と雇人との御飯たきをし、尚ほ其の上に、鷄二百羽、兎五十羽、豚五十匹の世話をして居ります。まだ其の上に近隣の西洋人から英語を敎へて貰ひ、日本では殆んど敎育を受けざりしにも係はらず、今では立派に英語が話せる樣になつて居ます。夫の木本氏は紀州の人で、二十年近く奮闘し、今では三十エーカーの土地を所有するに至つて居ります。

此の通りに骨が折れるのですから、身體が強健でなくては駄目です。

次に彼方では日本婦人の數が男子に比し至て少ないのですから、自然誘惑が多い、其の上に長者の制裁の

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ない所ですから、餘程意志の强固な婦人でないと、間違を起します。十年前には妻君の行衞が不明になつて懸賞で妻君をさがす樣な滑稽さへあつたものです。今ではソンナことはありませんが、併しまだ〳〵內地に於てよりも誘惑が多いのです。

日本で高等女學校を卒業した位の語學の力では仕方がありませんが、ホントに語學が出來ればソレは大變役に立ちます。

（三）

コウ云ふ私の觀察と、在米同胞男子の注文とを土臺とし、ソレから考案しまして、私は在外同胞男子の配偶者を養成する女學校を設立したいと考へて居ります。

私の設立したいと願へる學校は、英語を主に和洋料理、和洋裁縫、和洋禮式、及び音樂を學科とし、授業時間は午前中と云ふことにして午後から夜分にかけて何んなりと內職をし宅から月七圓の金さへ貰へば、後は自分の腕で稼ぎ出して勉强する、其の習學年限は三年入學者の年齡は十四五から二十四五までと云ふことにして、卒業すれば私の方で責任を以て結婚さすと云ふことにしたいと、云ふ風なのです。外に別科も設け六ケ月間、私と起居を共にしながら語學を勉强したものを、海外在留の同胞に稼せしむると云ふ世話もしたいと考へて居ます。此の間三十九歲の花嫁を一人在外の同胞と結婚させました。

（四）

私は既に加州在住の同胞男子に百名ばかり婦人をお世話しましたが、一生の間には、千人の家族を拵へたいと思うて居ります。私がコウ申しますと、力行會の人が、力行會の會員丈けでも加州に四千人以上居るからソンナことでは困ると云つて笑はれました。之れからは加州ばかりでなく、布哇へも、南洋へも手を伸し在外同胞男子に、善き妻をもたすことに、極力盡力したいと思うて居ります。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人を伴はざる移民は成功せず

法學士
雜誌「海外」主筆　朝日胤一

私は先々月、靜岡、長野方面へ參り、四十日間に二十七八回、海外發展に就ての講演をして來たが、講演の都度、婦人を伴ふのが海外で成功の秘訣であると云ふことを述べました。御尋ねに對する答へとして此の講演の大要を述べましよう。

第一に南米中米で金を得るとは困難でない。半勞働でても日に一圓以上二三圓の貯金が出來るが、貯金を繼續することが如何にも困難である。何せと云ふに、先方では預金は五十圓百圓と纏まらねば出來ないのみか田舍に於ては小銀行が少ない爲め一定の額に達した金でも預けることが出來ないのである。ソコで止むなく胴卷にでも入れて持て居るか、さもなければ邦人中の成功者に預ける樣なことになる。さて胴卷にでも捲いて持て居ると、酒も飲みたい芝居にも行きたい、獨身者であれば婦人にも關係したいと云ふことになつて來るから、遂には其の金を無くして了ふ。然からざれば友人等に借りられて了ふ。實際賭博でもする友人があるとどうしても借りられて了ふ。ソウ云ふ際に婦人が居れば、婦人は金の番人にもなり、都會の銀行へ預けに行く金の運搬人にもなり、又夫の出來心も制することが出來る。第二に親戚故舊のない外國に於てのことであるから、婦人が内に居て店員の役を勤め、男が外で働くと云ふ風でないと、仕事が繁昌しない。

第三に、南米中米に於ては、北米以上に婦人に權力がある。南米中米では婦人は別に權利を主張しないが婦人は尊敬されて居る。從て婦人の勢力が強い、社交の上に於ても、仕事の上に於ても婦人だと都合のよいことが多い。例へば金談にしても、男が行くと駄目な

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

場合でも、婦人が行くと好都合に運ぶと云ふ風である婦人が社交界で不知不識の間に夫の信用を傳播し、夫の地位を向上せしむることも出來る。

第四に、中米南米はラチン人種の亞米利加で風俗甚だ紊れ、男女共に多くは花柳病者である。其の爲め日本の移民にも病毒が感染し、日本人で入院して居るものは全部花柳病患者である。妻君を伴つて移住したものにはコンナ危險はない。

其他家庭の快樂より云へば勿論、看護婦としても婦人を伴ふことが必要である。

妻君の外に小供があれば小供をも伴ひ、弟妹があればソレをも伴ふがよい。親子三人揃ふのが個人的殖民事業成功の秘訣である。移民は是非妻と小供をつれて行くがよい。

墨西哥でも、南米でも、日本人の今行ける所、若しくば將來行かんとして居る所で、一として日本より甚い氣候の所はない。向ふの方が氣候が穩かで行つた爲めに身體は强健にこそなれ、弱くなる樣なことはないから、婦人と雖も外國行を懸念する必要がない。

以上申述べたことを實例を以て證せんに、日本から勞働契約で向ふへ行つた人の中、今日成功して居るものは、日本より婦人をつれて行きし人か、向の女を妻とせし人であつて、獨身で成功せし人は先づないと云つてよい。墨西哥で雜貨商として成功して居る原商店の主人は日本より婦人をつれて行つた人である。田中、林、岸本三氏も日本の婦人をつれて行つた人である。高野、照井兩氏も成功者である。兩氏は西洋婦人を妻として居る。

巴奈馬で成功して居る齋藤氏の如きも、ペリユの成功者森本氏、橘谷氏、久藤氏、飯田氏の如きも、孰れも日本婦人を妻として居る人達である。

斯く日本婦人をつれて行つた人か、アチラの婦人と結婚した人は成功して居るが、獨身者は縱ひ一時成功しても、皆失敗して居る。

向ふに行くには無論洋裝でなければならぬが、北米に行く場合よりも簡單でよろしい。和服も持て行く

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

方がよいが、之れは寧ろ贅澤の部に屬する。出産に際しても日本の産婆があり、無くても困らぬ様に出來てるから心配するには及ばぬ。氣候の爲めに小供を死なすと云ふ様なことも殆んどない。

此の故に私は微力ながらも、婦人に海外發展の思想を注入したいと考へて居る。長野高等女學校の渡邊校長が『自分の學校では殖民婦人を造りたい』と云つて居るのは、頗ぶる面白い。

米國婦人記者に招待されて

文子

米國婦人記者シャルコフ夫人は日本の婦人を親しく研究して、彼地の婦人雜誌に紹介する目的で來朝されましたので、去る十九日に帝國ホテルに、各方面の新らしい試みをせんとしつゝある婦人十數人を招かれました。接待役は磯村春子女史、柳澤女史などで、洋州社の矢部八重吉氏、帝劇の山本專務、有樂座の關谷氏、林氏なども見えました。來賓には女研究專門の青柳有美氏夫妻、森律子、川村菊枝、宇治龍子、村田かく子其他二三の女優と丹いれ子氏岩野淸子氏や私などで、米人の夫婦二三組もありました暫らく客間で語り合つてゐる中に、さあ食堂にと案内されました洋食が幾度も〳〵取かへられて後に日本料理が出て卓上演說が始まりました一米婦人は日本の御婦人は優しく立派な家庭婦人として申分なく我々から何事も習ふ必要はない、お敎へする事はないとお世辭たつぷりに話されました。シャルコフ夫人は成程家庭婦人としては立派であるが、今少し米國婦人のやうに社會的に働いたりする事を學ぶ必要はあるまいかと云ふ事でした。露國人で日本通のＡさんは其得意の日本語をあやつつて、米國も日本も極端である我々は折衷主義でしなければならぬ。日本の家庭では夫の外出さるゝ時に夫人が夫の靴の紐を結びマントを着せられるが、夫人の外出には夫も大にコートを着せなければならぬと云つて笑はせられました。それから岩野淸子氏は米婦人の日本婦人を賞められるのは大御言葉で御座いましやう、それは無自覺で盲從的に服從してゐるので賞するに足らない、私どもは二三年前からそこに氣づいて新らしい試みに失敗しては又試み、破壞し〳〵しつゝ建設しやうとしてゐるのであるがまだ〳〵ほんの步みかけたばかしであるから大に助勢して頂かなければならぬと云ひ、森律子川村菊枝氏などの挨拶があり、丹いれ子氏の、私は家庭の事情から止むをえず一生懸命職業をしてゐますが矢張り結婚して子供を生んで母となるのが理想だけれども結婚問題が起ると世間の評判で破談になり、又一生懸命しなければならぬ。ジャンベルジャンの如き境遇ですそこを一寸御同情下さいと云ふ愛嬌あるお話で、私は日本婦人は結婚して家庭の人となると、進步はそれなり止まつて終生十八才當時のまゝであると申ますが、どうかそうならずに家庭をみながら職業を持つなり何事か研究すると云ふ樣に兩立させたいと思ひ、自己も實行しつゝ、それに就いて起りつゝある種々の婦人問題を專門に研究してゐるのです。と云つたのでした。

夫人の夫君は紐育市に於ける非常な金滿家で年に百萬弗位遣つてもいゝと云ふので、これが夫人の日本へ來遊された二度目だ相です、かゝる境遇の夫人が雜誌の記事を取られるのだから面白い完全なものが出來るのです、我國でも所有方面の婦人を一場に會合して貰つて或一問題について意見を聞けばおもしろからうと思ひました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

私

からさはじゆんせい

私は弱者だ。

私はいつでもそれを知つて居た。もつと強くならなきやならぬと常に思つて居た。そして可なり長い間それが爲めに努力して居る。もつと強く、もつと大きくなりたい、けれ共私にはそれが出來ない。何うしても。

私はいつでも人の居ない所に、獨ぼつちで居たい。そこに初めて自分を發見する。明かな自分の形が見られる。僞りのない自己の影が讀まれる。落ちついて靜かに自分の魂と語る事が出來るんだ。

大勢の中に居るのは苦しい。みんなで私一人を壓へつけて來る樣に感じる。何奴の面を見てもみんな意地の惡さうな顔をして、陰險な瞳を光らして、私一人を、さうだ私一人をみんなで、寄つてたかつていぢめ壓へつけ、おしつぶさうとして居る樣に思はれる。

私は氣がいら／＼する、少からず不安でたまらない。

あゝ、私の側へ寄つて來てはいけない。私の方へ來てはいけない。私から成るべく離れて居て呉れ、一寸でも二寸でも遠く離れて呉れれば、それだけ安心するのだ。

私の弱い魂にさはるな。私のビク／＼して怖れをののいて居る魂にさはるな、敏感な私の神經に觸れないで居てほしい。

誰だ、誰だ。私の後ろからそつと忍んで來て私の後頭部の髮にさはるのは。私の魂を驚かさうとして忍んで來るのは誰だ。

あゝ後生だから、そのまま靜かに去つて呉れ後生だから、

私はかうして又弱者になつてしまつて居た。

私は自分の意氣地なしが癪にさはる。

氣がいら／＼する。

さう云ふ時には私は虚勢を張るんだ。

がらにもない高い調子と、勇氣とをしぼつてビク／＼しながら皆に反抗するんだ、何でも彼でも反抗するんだ。

奇妙な事には、一度さうして反抗の態度に出ると、それからは自分でも不思議な位に強くなつて、いやに落ちついて、何事も思ふままに振る舞はれる。

それは氣狂になつたんだ。一時的の氣狂になつて自分を忘れたんだ。氣の弱い犬が狂水病にかかつて石や木に噛みつく樣に。

けれ共漸く我にかへつた時には、心も魂もすつかり勞れ切つて、小さな苦しい息にあえいで居る。

そのいぢらしい私の魂の姿を見る時には、堪へられない悲しみと悔悟とに苦しめられるのが例である。

涙が流れて來る。

おゝ、私の弱い魂。お前も矢張り泣いてるれ。

なきぬれて勞れ切つた私の魂。

私は弱者だ。

（一九一五・一一・一〇）

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

舊き歌反古より

溪　一　路

我がために泣く子もあれや箱崎の燈明臺に灯の
ともるころ(筑紫にて、五首)

遠きとほき海のかなたの暗きよりうねりて濤の
よする音かな

かんなづき眼路のはろかにうかみ來る阿蘇の煙
の泣かまほしさよ

秋高き山の麓の飄めぐり我がうつむきの旅すが
たかな

行き暮れて力も無げに放ちやる旅のひとみにう
つる櫻木

×

飄然とわが出で立てば春の旅豐後の海はしづか
なるかな（豐後の旅より、五首）

ああ旅路ひとりは今や堪へがたし夕さり來れば
かなしき彌生

夕されば豐の山々打ちかすみ今わが馬車は山峽
に入る

あすはまたうらぶれて我が歸るなり夜をこめて
泣く人もあらなくに

たらちねの母いまさねば歸り來も淋しきわが家
足らはぬ我が家

×

朝まだきわれいつしんに呼吸すればまことにい
のちは尊かりけり

野にてわれまはだかとなり眞實に我が强健を感
謝せりけり

かの白砂ほのかに今日は見ゆるなり妹をし偲べ
ば岬こひしも

この赤兒唄をうたへど泣きやまずゆすれどされ
ど靜まらずけり

いつしらず赤兒も眠るをおぼえけむ泣く泣く牛
乳をすゝるなりけり

箱崎のそのあけくれの波の音わが熱涙をさそひ
てやまず

ああ清みやれば海のあをきかな我が寂寥に似て
蒼きかな

ものいはゞ涙あふれむかんばせをかたみにそむ
け別れけらずや

岩、岩、岩、忘れ得ぬ岩礁の岩かの箱崎の夜の
磯の岩

×

神經痛病めども常にいましをば忘れ得ずとの尊
き手紙

かにかくに我は子なれば老いにたる此の父君を
休めまつらむ

初冬の夜の火鉢に手をかざし白き指など思ひ出
でけり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

せん、冷やかで情愛が足りなかつたからです、男の放蕩は我儘から來るので無論惡いけれど、或場合一部の責任を婦人も負はねばなりません。

先生永い夫婦生活の中には、互に同化し合つて興味が無くなるから、變化を好む男は他に心を移すので、然かもその方が度々若返つて怜悧な生き方では御座いますまいか、それを婦人は因襲的婦德に束縛されて、やうしないのではないでしようか。

同化して興味がなくなるのは事實でしやう、けれどそれは毎日食べるお飯が珍らしくなくて、たまに食べるそばやおしる粉が甘しいのと同樣で、その中には平常のお茶漬がどんなに戀しくなるか知れません。眞の深い愛情の湧いて來るのは長い夫婦生活の後でなくてはありません。

結婚當時は他人も自己も樂しいものときめてゐますが、それは只淺い淡いもので華やかではあるが深刻ではありません、でこんな事を云へば笑はれやうか怒られやうか、喧嘩をすればもの別れになりはすまいかと云ふ懸念が混じつて居ます。一方にはそう云ふ心持ちが懷かしく戀しく思はせるのでしやうが、何もかも知れ切つて來るとそんな恐れもなくなるかはり興味もなくなります、その代り落ついた骨肉のやうな關係になるのです、初めて遠慮のない寛いだ安住の住居が出來るのです。

先生、娘時代の親の家にゐるのは何の遠慮もない安住の住居ですけれど、いろ〳〵と不平を抱いて居ります樣に、家庭も落つきの出來る頃はもう駄目なのではないでしやうか。

い丶え親の家と、自分の家とは違ひます、今度は好奇心や興味ではなく、深い基礎、將來の希望と云ふものが湧いて來ます。

先生、氣の若い男にはそんな地味な年老いた事が嫌なのかも知れませんね。

それは家庭と云ふものがいつまでも二人きりで若く單純なものならい丶でしやう、けれど夫婦生活をすれば子供が出來るのが當然で、小供は男一人のもので

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

も、女一人のものでもありませんから、子供に對する責任と云ふ事も考へなければなりません、いつまでも放浪の生活を樂しんでゐる事は出來ません。

先生もう一つ不思議な事には、結婚時代に戀の愛のと云つた家庭に限つて、數年の後夫が放蕩し出してすつたもんだが始まりますが、これはどうしたものでしやう。

それは始めから放蕩な男子と結婚する樣な婦人は、男の放蕩はあたりまへだと思つてるから、問題にしないのです、處が自由戀愛だのクリスチャンだの理想だので一しよになつた人は、婦人の驚きもひどいし、夫も一言の下に叱り飛ばしておくわけに行かないから大問題になるので、まだそんな男子は殊勝な方なのです。

先生、そんな場合にも婦人の權利を主張したものでしやうか、夫を許したものでしやうか。

夫人は只自分の腹立ちからや權利義務からでなく、全く夫を救ふのだと思つて、意地を捨て無我になつて無邪氣に夫の全部を自己に引きつけて了ふのが必要です。かゝる場合夫人自らさへさう惡く思はないのに、まして後ぐらい事をした夫が憎く思つてゐる道理はありません、それを愛想よく待受けやうと思つてゐても、夫の顏を見ると、ついつんとすねて見せたりするから、あやまらうと思つて歸つた夫もぷんとして又出て行く樣な事になるのです。

それについて不和な家庭を睦じしくてお上げした私の實驗談を一つ二ついたしましやう、或夫婦は喧嘩して、ものも云はないでゐられましたが、私が度々訪問してお夫婦の興味を持たれる話題で話をしましたら、それが導火線になつて爾來其の御家庭は圓滿になりました。直接其喧嘩の原因などについて語るのはまずい事です。

又或家庭では何事も夫が許さないからと云つて內祕內祕でなさいました、一家の中に祕密のあるのは惡い事ですから、私は出來る丈け改めてお上げしたいと思つて、不言不語の中に御夫人の位置を夫君と同樣に認

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

めさす爲めに、夫人の來客を大びらに迎へたり、歌舞伎や帝劇にも良人と一しよに出かけられる樣におす丶めしました、處が最初二三度は御良人も變に不快に思はれた樣ですが、だん〳〵馴れて見れば決して惡い事ではないし、立派な夫人の友人を見て夫人の勢力も認めらる丶樣になり、結局御良人も藝妓をつれて行くよりも夫人と同行せば後々への話の種にもなり面白くなつて來て、これまで十數年來も夫人を社會と沒交涉にしておいて話相手にしなかつたのは、夫人の爲めにも子供の爲めにも御自分の爲めにも、大變な損害をした事をお悟りになりました。御夫人は此頃では何々の會へも盛に出られるし、社會問題なども云々なさいます。醫師の夫人だからとてまさか往診には一しよにも出かけられませんし、辯護士の夫人だからとて裁判所へも御一しよにと云ふ事は出來ますまいが、遊び事位はせめて一しよに出かけた方がよろしい。

個人的家庭問題はそれ〳〵個々別々に扱はなければなりません。臨機應變の處置が必要で、政治、經濟、社會、法律問題などの一般論でも解決されません、もつと深い宗敎、道義人情の機微に基づいて解決しなくてはなりません、つまりは個人の修養と云ふ事になるのです。（十一月十六日朝）

秋の夜の瞑想となやみ

神澤理一

すすきかるかやをみなめし、虫も鳴くがに曇り日の朝

そら曇り風さやさやながるれば、いづちともなく虫なきやます

みればとてわが瞳になにの映るべき、かなしきひとをおもふまじぞよ

ひたすらにおもひつのりてきみもまたあやぶく秋日たちゐすうむか

いちみやくのかなしみほそながれやます、たへども〳〵みぬちさらすも

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人と海外發展

日本力行會長　永田稠

男子の間にありてすら、海外發展に就ての思想が、尚は頗ぶる幼稚な今日の事であるから、婦人の間に海外發展に就て考へる人の少ないのは、少しも怪しむに足らぬことである。

けれども、第一には、高等女學校を卒業した程度の婦人は、何れ高等教育を受けた男子と結婚せねばならぬが、さて高等教育を受けた男子、縦ひ大學を出ても、其の多くは收入が至て少ない、小供の二三人も出來れば、ナカ〳〵困る、此の事の知れて來たことから第二には田舍で大地主の家にでも結婚すれば生活の方は心配がないが、舅姑と折合ふことが容易でないと云ふ事から、内地にありて結婚に失望し海外へ行きたいと希望する婦人が、近來ダン〳〵増加して來た。

而して一方向ふの、即ち米國加州に在住して居る同胞はと見れば、成年の男、四萬二千人に對し、成年の女子約一萬で、約三萬二千の獨身者がある樣な次第です。之れ彼地同胞の間に、料理屋、淫賣婦、賭博、飲酒などの惡風が盛んな所以である。ソレでどうかして内地の海外行を希望して居る婦人を、成る丈け多く海外へ出して、海外在住の我が同胞に善き半身を與へる樣にしたいと云ふのが私共の切望して止まざる所なのです。

何分にも、外務省の方針が旅券を渡すまい、渡すまいとするにある上に、親達がナカ〳〵手放しませんので、思ふ樣に行かないが、ソレでも嬉しい事には、婦人の海外渡航が次第に増えて來た。昨年の調査によれば、過ぎし一年間に桑港へ上陸した日本婦人の數は八百人だと云ふことです、若し之れに同年間にシャトル

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

PAGE NOT AVAILABLE

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

PAGE NOT AVAILABLE

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

PAGE NOT AVAILABLE

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

PAGE NOT AVAILABLE

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

PAGE NOT AVAILABLE

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

PAGE NOT AVAILABLE

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日本神代の女性

稜威教會長　川面凡兒

日本は、印度や支那の様に男尊女卑の國でなく、又亞米利加の様な女尊男卑の國でも、歐羅巴の様な男女平等の國でもない、男女一身同體の國である。

（一）閨門の教

伊邪那妓、伊邪那美の二神、天の御柱を行廻りて夫婦の交りを爲す時に、女神が先づ『ア、美しい、よい男よ』と云ひ玉ふた。斯くて生れし子が不良であつたので、天神之命に其の故を問ひ玉ひしに、天神は女を言先だちしに因りてゝあるとのりたまふた。ソレで今回は天の御柱を往廻りたまひ、男神が先づ『ア、美しい、よい女よ』と云ひ玉ふた云々との神話があるが、此の神話の中に、日本の閨門の教が含まれて居るのである。

斯く日本では女は男に先立つことは出來ぬのであるが、併し男唱婦和と云つて、婦人は男に従ふのではない和するのである。

（二）結婚の教

皇孫瓊々杵尊が天照大神の命を畏み、高千穗の峯に降臨あらせ玉ふや、一日薩摩の笠沙の岬に於て一美女に出遇ひ玉へり、その名を聞けばこれぞ即ち木花咲夜姫であつた。尊、姫に婚意を通じ玉ひしに、姫は『私は得白さず、私の父大山祇に乞ひ玉へ』と辭す、之より尊は大山祇に乞ひて姫を得玉ふた。との神話があるが、日本の結婚の教は玆にあるのだと私は考へる。即ち日本では自由結婚は許さぬのである。

普通男子にしても婦人にしても結婚期に達するま

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

では、兎角親の世話に成り勝ちである。今まで親の保護で生きて來たものが、之れからは獨立の出來る樣になつたからとて、親にも相談せずに結婚すると云ふことは餘りに勝手過ぎると思ふ。子の位地から云へば親に孝行を要求さるゝとイヤな感じのするものであるが親として子供の孝行を悅こばぬものは一人としてない之れが人情である。

此の頃の若い新しい婦人は、結婚すると直ぐ其の理想を實現しようとするから、舅姑との折合が甘く行かぬのである。自分が新しくても、舊い舅姑も居る家庭であつて見れば、舊い人にも同情して考へ、其の邊よろしくやつて行かねばならぬ。日本の過去には、ドンナに學問があつても、ソレを少しも鼻にかけずして、無學な舅姑に立派に仕へた賢夫人が澤山にある一萬石若しくば十萬石の城主の姬君が僅か百石位な武士の妻となつて、立派に夫にも舅姑にも仕へた賢夫人も亦た澤山にある。斯く己れを殺し、人を上げて行く所に云ふに云はれぬ美しさと尊さがある。私は今の新しい御婦人方に、茲を味うて貰ひたいと思ふ。

又日本には、佛敎の渡來せぬ前から、夫婦は一世でない、二世、三世までも切るに切られぬ關係のものであるとの思想があつた。ソレで夫婦は互に何所までも辛抱し、互に感化する覺悟がなければならぬのである。それが日本の男としての情、女としての情であるで若し不幸にして一方が亡くなれば、ソレが男であつても、女であつても、後に遺りしものは操を守つて寡居せねばならぬのである。けれども日本は血統を重ずる國なので、若し妻に子なき場合には、支那の樣に去る樣なことはしないが、妾を置いてもよいと云ふことになつて居る。夫が亡くなつた時にも、ソレが妻に養子した場合であつて、子供が無かつたとせば再び男を迎へてもよいと云ふことになつて居る。子供があつても、一方に死なれて後に殘つた妻なり、夫なりが、子供の爲めにさまたげられて生活に困る樣な場合には、結婚してもよろしいと云ふことになつて居る。之れ此の世で働くのが神の命令であるからである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

（三）場合によりては表にも立つ

日本の女は、昔から内で働くのみではなかつた。平常は男を表に立て陰から働きしも、男が病みし場合とか、男が留守の場合に事件が起れば、立派に表に立て働いたものである。神代史に、天宇受賣命が、男ですら進みかねし敵の大軍を恐れずして進み、遂に猿田彦の命を說き伏せた話があるが、武家時代になつてからも、斯の樣に表役を勤めた婦人が幾人も出て居る。

口は達者だがいよ〱となれば弱い今日の婦人とは事變り、右の樣な昔の婦人は、大抵な事は柳に風と受け流して男を怒らせないが、若し貞操を破らるゝ樣な場合になれば、甚く男をやつゝけたものです。若し力及ばざれば劍に伏して貞操を完ふしたものです。

此の勇しい日本婦人の血を遺傳して居るから例へば津田梅子氏や大山捨松氏の樣に、小供の時に西洋へやられても、立派に遊學の目的を達して歸り、今日十九や二十や二十一歳位の處女が支那へ敎師に雇はれて行て、八十圓、百圓、乃至は二百圓も月給を取つて、ソレで立派に支那人を敎育して居るのである。今日政府の方針が女を外に出さぬ樣、外さぬ樣にして居るから日本婦人で海外にあるものゝ多くは密輸出されし淫賣婦と云ふ樣なことになり、日本の恥を海外にさらして居る樣な次第であるが若しも政府の方針が一變して、日本の善き婦人を海外へ出すことになれば、ドレ丈け偉い仕事をするか知れない。又女には男がついて行くから日本の海外事業がドレ丈け發展するか知れない。

佛蘭西が殖民事業に成功せぬのは、佛蘭西の婦人が殖民を好まぬからである。所が日本の婦人はソウでない。政府の方針だに一變せば日本婦人は仲々やると考へる。恐らく日本婦人程深沈にして快活、勇壯にして堅忍不拔なものはありませんでしよう。

私は神代から流れて居る、此の淸く勇しい遺傳に注意されんことを、今日の日本婦人に向て熱望せざるを得ぬ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

精神病物語

巣鴨腦病院副院長 多田碩男

世に學科の進歩と共に一心の働く所電信となり、電話となり、電燈となり、汽車となり、自働車となり、飛行機となる。さり乍ら最も精密な器械ほど狂ひ易きと同じく、此の靈妙なる人の精神もふとした事から狂ひを生ずるものである。而して其昔政界に雄を振うたものも富豪も美人も貧乏人も、落つれば同じ谷川の水も一般にたわいもない、赤兒の樣な狀態に成るのである。何人も靜に此等の人々を觀じては漫ろに同情の淚を禁ずる事が出來ない。元來多くの精神病者には病覺卽ち自分は病氣に罹りて居ると云ふ自覺がないから醫師にかゝるとを欲しない。父母兄弟も情合として患者の希望の儘に放任して置く內に、手遲れになる樣な事が少なく無いのである。

其中には親兄弟を疎んじて、反て他人をこひしがる病人もある。又親兄弟も病氣と云事を頭に置かずして相手に口論する事もまゝあり、或は患者に依りては自分の好きな人が來ると快活に話をしたり若しも氣に入らぬ者でも來やう者なら忽ちにして病的本態に陷入り狂暴する者もある。日常の食物に毒が入りて居ると被害妄想を起して少しも食事を取らぬので醫療に依り其中に食附く者もあれば、二三年も何としても緘默し夜分眠らば殺さるゝとて恐れ騷ぐものもあり。或は眠前に惡魔がちら付て恐怖したり、人の顏が鬼の顏に視えたり、又は罵詈の聲が聞え憤怒の情に堪へない者もあり、無線電話が掛つて來たとて頻りて獨語獨笑するあり、或は眼に觸るゝ土木石片が悉く金塊となるとて喜び濫集するあり、空中に龍宮が視えるとて騷ぎ嬉しがるあり、自己の疾病は到底不治症なりと確信して自

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

殺を企てんとするあり、弄火を好むあり、妻に情夫ありとて嫉妬妄想を抱き危害を加へんとするあり、金などは山程ありとて湯水の如く費消を企つるあり、或は己れは大罪を犯し到底社會に立てざるものなりとて悲観々念を起す者あり、大發明家なりとて吹聴誇大するあり、仲々樣々の狀態である。斯かる精神病の原因を内因、外因に分ちますが、社會の進歩と共に年々多くなる傾きがある。財政上の問題卽ち生活問題の煩悶から來るのもあれば、過度の勉强の結果や、病人の看護から睡眠不足過勞の結果として來るのもあり、或は宗敎上の迷信から來るのもあれば、傳染病の後や中毒で來るのもあり、其他血族結婚遺傳などからも來る。

精神病になる人の氣質は、多くは小膽、内氣、因循自恣、卑屈などと云はるゝ方である。此の病人の發するのは春とか秋とかの季節の變り時に於て最も多いのであつて毎年此の期には新聞紙上にも自殺とか殺人とかゞ最も多く現はるゝ、更に職業上から觀察すると、酒造家と其の店員や、花柳界の人々に最も多いのである。且つ一般に黴毒より起る精神病は惡性である。又職工など負傷して其れが爲めに此病になることもある左に少しく實例を擧げてお話しよう或酒造家の主人は毎日多量に飲酒せし結果遂に酒の中毒から精神病者となり溫順謹勉なりし人が一變して誇大妄想家となりて濫買尊大になり又憤怒し易くなつた。

或る地方に好酒家の妻あり、夫が頻々酒店に出入するを苦にして煩悶し遂にはヒステリーになつた。然る所、一日夫が泥醉して歸るの途中、過て谷間に落ち人事不省に陷つた騷ぎに妻は驚いて發狂して了つた。或る地方で或時一婦人が材木を小川に流すのを見物に行つたことがある、其の時どうかしたはづみで一材木が非常な勢で婦人の足許まで飛で來た、其の婦人は之れに驚いて卒倒し、爾來歩行不能症に陷入りて歩けなくなつて了つた。此れも地方の出來事であるが、洪水の爲に橋が流れた時に裸體で其河を渡らんとして過て溺死したものがあつた、其の死體はイクラ探しても見付からなんだが、同じ村の一農夫が魚釣りに行つた時不

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

國其の死體を發見した。其の農民は腐爛して恐しき姿となつて居る其の死體を見て以來は夜も碌々眠られなくなつて、遂に精神病者となり果ては家人の隙を伺ふて家を飛び出し遂に縊死して了つた。

或る家で養子を迎へて間もなく義父が精神病者となり、養子は家政をやらねばならぬ事となつたが、彼は煩悶と過勞の結果、其の義父と同じく精神病者となつて了つた。

一少女が看護で精神を過勞して遂に精神病になつた話もあれば、又一青年が身分不相應な所より養子縁談の話が始まり、其嬉しさの餘り精神病に成つた話もある。其他婦人方では離緣の結果此の病氣になつた例も少なくない。或る一男子米穀商を始めたが仲々思ふ樣に收入がない爲めに此の病氣になつた事もある。

精神病患者の躁ぎ方は家人が恐怖して早く入院療法を加へるが、憂鬱性の方は患者が靜かで家人も左程に思はぬ内に自殺をしたり。他人を傷つけたりするに至る。素人の唱ふる誇大妄想狂だとか、色情狂だとか或は所謂夢遊病だとか、云ふのは病名でなくして一症候である。

最後に、素人は輕快になつた精神病者を、其の儘遊ばして置く傾きがあるが之れはよくない。例へば寫字をさせるとか、刺戟のない書物を讀ませるとか、狀袋を貼らせるとか、糸つなぎをさせるとか、農事、牧畜、園藝などをさすとよい。要するに精神病者には深き同情と忍耐を持つて、親切と注意を加へ、看護する事が何によりも肝要であるのです。

袋雜誌の好評

天下の奇人宮武外骨氏の編輯にかゝる袋雜誌は、其の趣向の珍なる、其の記事の奇拔なる全く天下一品である。されば今や好評を博して賣れ行よく、至る所で噂さになつて居る（東京市麹町區有樂町三の五天來社發行、一袋代十錢送料二錢）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ヘマンズ夫人の譯詩

中尾清太郎

翻譯の締切間際になつても、私は懶くて「大戰完結」の前約を履むことが出來ない。それで申譯までに、前間にちよつと洩らして置いた彼女の詩の譯をお目にかける。之は二十年も前の筆である。私の舊稿の裡から捜し出したのだ。詩體や韻律が、いかにも古典的だけれども、それは之を譯した時分にはやつた風だから、却つて此儘にして見て貰つた方が、當代を偲ぶにも便利であらうと思ふ。——譯詩は自分のものながら、今見ても誤譯はなささうだけれども、隨分意を推して技巧を弄いた痕がある。それをお察しを願ひたい。

養童 ("The adopted child")

□こは英國女詩人フエリシア・ドロセア・ヘマンズ夫人のものする所なり。彼女は一七九三年リバープールにて生まれ、一八三五年ダブリンに於いて歿りぬ。彼女の詩の處女作は、齡十四の時に成り、第二の集は、齡十八の時に成りぬといふ。その詩の風は自然の興趣と樂天の傾向とを有するを以て、最も特色とせり。彼女の「カサビアンカ」の如きは、英國讀詩社會が、最も好評を與ふるものの一なり。其他、彼女の製作として擧げらるべきは、「シイザ・ヴレンシア」、「ラスト・コンスタンチン」、及び「ヒムズ・フオア・チャイルドフッド」等なり。玆に譯出せるは、彼女の集のうち、「アドプテッド・チャイルド」とあるものなり。

貴女——いとしき和子よ　かなたなる
山の小家は　壁おちて
藁ふきかへで　こわれたり。
ここに建ちたる　このはしら
うつくしくのみ　たくみたる
やかたのうちの　かざりなる
石の像や　あぶらゑの
うつるけしきに　見とれずや。

小兒——されどこひしき　ふるさとは
はらからあそぶ　夏の日の
ながきあつさの　ころにても
みどりの芝の　もえ立ちて

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

さかづき苔や　百里香
ひとりばへなる　艸の花
岩間をかけて　蜂を追ふ
そのうれしさや　いかならむ。

貴女——いとしき和子よ。しづまりて
このあづまやに　ひゞきくる
午のもなかの　横笛に
耳をかさずや　風の音に
しらべも合ふ　縦琴の
ひなうたうたふ　百鳥ぞ
しろがね擦るる　聲ふりて
たへなるふしの　めづらしや。

小兒——されどこひしき　ふるさとは
庭のおもての　香るるとき
母は末なる　兒を抱き
樹陰にゆきて　ねむらする

小山の歌を　おもしろく
ならふがごとく　くりかへし
うたひたまふを　まのあたり
うつつに見るを　いかにせむ。

貴女——いとしき和子よ。母人は
その兒をいだき　はるかなる
遠きところへ　隔つれば
いまはあとゝふ　よしもなく
小山の歌も　きかれまじ。
こなたへいでて　圃なる
葡萄の房の　色あるを
いざうちつれて　摘むべくや。

小兒——されどこひしき　ふるさとは
母はゐずとも　はらからが
必ず倶に　むつみつつ
あつむるものは　ジキタリス

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

泉に生ふる　羊歯の葉や
流もきよき　小川にて
舟をおろして　たはむるる
たのしみ多き　ところあり。

貴女――いとしき和子よ。はらからは
崖にも見えず　羊歯の葉を
探りし泉の　かたへにも
天津をとめの　乗る舟の
下りし其處にも　かげはなし。
もはやおちゐて　しあはせを
此處にうけずや　かのいへは
あはれ寂しう　なりにたり。

小兒――されどこひしき　ふるさとは
たとひ人みな　去るとても
ちひさき鳥や　藍き蠅
あかき麋の　もろともに

よろこびあそび　日の岡の
蜂に宿かす　高草は
撓められつつ　新しき
風吹き誘ひ　水躍る。

火と水とのお自慢

米國婦人記者フエルコフ女史は我國の有名婦人を歴訪せんとて江木榮子夫人にも度々面會を申込まれると、夫人は私の宅は西洋間と云つても純粋の館洋ではない、三分の一は日本式三分の一は支那流であるから、決して靴のまゝ昇つてはいけないと申込まれた相である。又シエルコフ女史は彼地の大富豪を夫君として居られるので私の別莊はナイヤガラの大瀑を前にして絶景此上ないから是非貴女の御來遊をまつと云はれると、江木夫人もさるもの私の別莊は淺間嶽の噴火を前庭にひかへてゐるから貴女も是非にと出られた相である。火と水とのお自慢ごつこは、飛彈の工と百濟の川成との腕比べのやうだとをかしく思ひました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

アンニー ベサント夫人

記者は曩に本誌に於て人種改善學の大要を紹介した時、談避妊の事にも及び、避妊の實行を率先唱道せしアンニー、ベサント夫人の事も云つて置いたが、其の時には夫人の肖像が手に入らなかつたので掲げなかつた。今回幸にも夫人の肖像を手に入れることが出來たから本號の口繪とする。

ソレで前に書いたものに多少の訂正を加へ、玆に再びベサント夫人の略傳をも紹介することにする。

ベサント夫人略傳

ベサント夫人は千八百四十七年、今より六十八年前に英京倫敦に於て生る、幼ない時に父に死なれて母の手一つで貧苦の中に生長し、其の二十歳の時に牧師フランク ベサントと結婚して、やつとのことで幸福の身となり、夫婦の間に二人の子まで爲したが、後の子が生れて間もなく病死したので、夫人は神の慈悲を疑ひ始めて、遂には神の存在をも疑ふに至りて、全く唯物主義となつて了つた。其の結果牧師たる夫と別離せねばならぬことゝなり、溫き家庭は破壞されて了つた。

夫と別れて後間もなく、夫人はブランドロと相知るに至り、共に英國中を說敎し廻はると共に、又共に『國民改革者』と云ふ雜誌を發行して、自由思想の普及に努めたが、避姙に就ての思想の普及と、之れが實行の奬勵とは、兩人の爲せし仕事の、大なる一であつた。

夫人は幼い時より貧苦の中に生長せし丈けありて、自然貧民に同情深く、其の避姙論の如きは、主として貧者の爲めに唱道したものであつた。ソレで自然社會主義的思想にも傾き一時英國に於ける最も熱心な婦人

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の社會主義宣傳者であると云はれ、東倫敦のマッチ工女の一大ストライキを指揮したこともあつた。

夫人の避妊論の要點

ベサント夫人等の主張は新マルサス主義と云はれて居るが、其の主張の要點は、

▼産兒の數を制限することは、たゞ母體の爲めばかりでなく、又實に産兒の健康の爲めに必要なことである。

▲自己の經濟力に應じて産兒の數を制限することはたゞに其の家族の幸福の爲めばかりでなく、又實に社會の經濟狀態を改善して、貧窮、犯罪等を少なくする爲めに必要なことである。

▼賣淫、墮胎、花柳病などは、獨身者の增加、晩婚者の增加等に伴うて起る弊害である。此の弊害を除去する爲めには早婚を奬勵するより外に道がない。併し茲に早婚の實行を不可能ならしむる一大原因がある、ソレは外でもない、子供の出來ることである故に若し避妊の方法によりて思ふがまゝに産兒の數を制限することが出來ると、安心して早婚を實行することが出來る。

と云ふにあるのです。

靈智學會

其後夫人は接神術に興味を有するに至りて、ブラバトスキー夫人の弟子となり、今は其の相續者となりて靈智學會の會長となつて居る。靈智學會の目的は、

第一條　人種、信條、性、族籍、又は色の差別なく普遍的人類同胞の核心を形成すること。

第二條　比較宗教、哲學及び科學の研究を奬勵すること。

第三條　未だ解き明かされしことなき自然法及人間に潛伏する能力を審査すること。

にありて、本部は印度のマドラスにあり。日本へもジエー、チリングハム、ダンと云ふ人が來て、横濱を根據として靈智學會の趣旨を擴めることに盡力して居る。

ベサント夫人の接神術に就ても、他日本誌上で紹介しやうと思うて居る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

鹿野山紀行

東大寺多代

木更津？何だか聞いたことのあるやうなとFは、艶やかな熱つた頬に細い手を當てて、古い記憶か何んぞを辿るらしく、又木更津？と獨語いた。

「あなたのんは玄治店のあれぢやないの」

「そう〳〵どうりで思ひ出せなんだこと」と今更興ありげに何かを索めるらしく、車窓に白い衿脚を延べて居たが、徐々に動き出す車と子供なぞの絡はるまゝにまた二つ三つの小さい驛を越した。一時間餘りも明るい海際を走つて居た汽車は、濃みどりに黄や赤を點綴した山ふところを縫うて、山麓のそこの停車場に着いのは、十一時近くであつた。

直きに腕車を傭うて、と思ひながら夫も本意なく、かつは溫茶なども欲しかつたし、で兩人はいひ合はさずしてすた〳〵其處の寂しい町を山に向ふたのであつた。汽車に厭いた子らは、すが〳〵しさと暖かさに穩順しい、何處までも靜かなこの町もいつしか過ぎ行いて、青々した畑と刈田との中ゆく程に、彼方の村で、晴れた今日を、稻扱などしてゐた女達は、兩人が二人とも脊に兒を負うて、山に登らうとするのを、目を睜つて居るらしく、手を休めて此方を視て居る。

柿の多いこの村は、山の半腹、谷あひなど、花盛りのやうに、枝も撓わに、美事である。

「もうそろ〳〵登りのやうね」と單調な田舍路に飽きてきた。脊の兒も柿が欲ちい〳〵といふ。路傍には嫁菜の花、をみなへし撫子の桃色はことに美しく愛らしい、水音がだん〳〵高うなつて來た。町で仕度して來る筈であつたのに、ついそんな家の前を通り越して仕舞うてから、もう二里も歩いたと思はれるのに、腰か

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

けるやうな處さへにない、自分らも咽が濕したい、人氣のないその綺麗な砂地へ二人の兒は下された。細い流水を隔てた岡の中途に、赤い大きいのが見える、欲しがるまゝに採つて遣らうと、ひらりと越えざまに飛びついたまではよかつたが、今一尺手が短い細い木に攀ぢた心許無さも、不細工さも忘れて居るのに、太い鈍な聲で「柿とるぞよ――」と呼ばはつた。もう〳〵柿はいや〳〵と思ふ笑止さ、いひしらす面耻ゆく 埃など打拂うてつと立あがつた。脊へは例のキヤラメルを與へて…………

今朝家を出る時には、可なり北風が冷たかつたが、茲處は大きい山と山との峽で、暖い光線は眞上からふうわりと、なか〳〵熱いほどである、お互に汗ばんだ額つきなど笑ひあふ、日光浴には適當な場所である。こんどは谿に臨んだ木から、Fが危ない思ひをして三つばかり採つて呉れた。何よりも〳〵も甘しいと、おやも兒も喜んだ。新に勢づいて又登りのぼる、路いよ〳〵嶮しく淺緑の峯前に後に、はた左右に、たゞ羊膓一すぢの赤どろ路のあるばかり、若し世路の難きに比せば猶自ら掌よりも平と口吟んではみるものの矢つ張り苦しい。空は狹められ、谿谷の水は銀絲の樣に細く白い。今は水の私語さへに聞かれぬ。あゝと私は思はずいふたものゝ夫れが自分の聲とも感じられない、私の疲れた樣子にFは栗を剝いて呉れたのであつた。不器用な私はそれを眞似てみるけれども、爪が痛うて直き止めた。日頃から畏敬して居るFは、どんな場合にても強い人であるよと つく〴〵思うた。

「オーイ、オーイ」と半身を見せた男が近づいて來た、靜寂なこの山中に籠る強すぎる其聲に心自づと緊縮つて、水を浴びた心地がする、彼は小さい紺足袋を片々持つてゐた、貴女方より登つた人が無いといふので、お呼びしました、と肩の子の足を見て、おゝ坊チヤンのでしたといひ乍ら、あの柿の傍で拾うたことを物語りつゝ渡して呉れた。鳥にもえ會はぬこんな所で、いとゞうれしう禮をいふ。「いやもう譯やあ有りません」その老杉のあるお山です、と山木の蓊欝た峯を指して

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

さつさと行つて仕舞ふ。譯やあ有りませんといふのに力をえて尙ほ十餘町を登る。海拔一千尺の山頂の宿に着いたのは、午後三時であつた。

どの嶺もどの山も禿げてのみあつたのに、この頂ばかり松や杉が欝蒼して、森に參天して居るのも奇とおもふ。或は亂伐のゆゑではあるまいか、峯の東端神野寺に詣づ、朱樓紫殿ともいふやうな、結構莊嚴、その大前に額づいて、連れて來た兒の爲めに禮拜したのも眞心である、お寺は推古の御代の勅願所とやら、あとにて承はつた。探幽の筆になる天井の天女、飛驒の工匠の寺門、さては谷又谷の所謂九十九谷の奇勝なんど觀るもの數多あるものを。殊に富士の嶺、觀音崎など鳥居崎よりこそ眺むべかりしを、わづかに樓上から東京灣を見おろして「時」「時」とのみあわたゞしうも山を降りた。

登る時にも長閑であつたFは、下りは得意の殊に疾く、風のやうだと評したい。

「人生も恁うやつて息切つて、登つた路を斯うらくらくと辷り乍ら、登つた時の心持を、其場、其處に思ひ起して、啣締めていつたなら、嘸面白いでせうに」

「だけれども又一面には、經て來た路々を必ず過ぎねばならぬといふのも、ある者には傷ましいそして興味のない事にもなりますわ」など語りあふ黃昏時を、牛率ゐて歸りゆく人、馬の脊に酒樽積んでいでゆくのは柿であらうか、釣の歸途とも見る老人の籠の中には、思ひきやそも豆腐があらうとは。……荷物を預けて草履を借りた、○○校へ立寄つたのは、もう灯ともし頃であつた。親切な宿直の千艘氏は子らの爲めにとて牛乳を溫めて勸めて下さつた。かうした人の情をしみぐ＼味ふ私達は何だか遠い旅に出てゐるといふ、淡いさびしみに、其部屋の小さい洋燈を望めやつた。

（十一、十二）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

徒然草に見えたる戀愛觀

石澤久五郎

○古事記などを讀むと兩性關係に關する露骨の記事が處々に見える、これを現代の口語體の文章に飜譯するならば一寸發賣禁止の疑ひがないでもない。しかしながらそれに古典書として尊重せられて居るところから保守的な頑固の國學者も現代文學に對するやうな不平を持つて居らぬ、誠に不思議の現象ともいひたい。

○さて兩性に關することは何れの古典書にも出て居るこゝに人間の自然的情緒が示されて居るともいはうかこれを我日本の古文學に見ると伊勢物語、源氏物語の如きはその殊に著しきものである。双岡の法師のものした「徒然草」の如きもその一つで、をり〳〵の感想記ではあるが、この感想が隨時にこの問題に觸れて居る。今これを「徒然草」に見えたる戀愛觀として一二の管見を加へて見たいと思ふ。

○「よろづにいみじくとも色このまさらんをのこは、いとさう〴〵しく玉の盃の底なき心ちぞすべき」とは法師の假定說で、實は人みなこの情あるを言つたものである、たゞこの情を行ふに二つの道あるべきを言はんがための前提である。卽ちつゞけていはく(一)「つゆじもにしほたれて、所さだめずまろびありき、親のいさめ、世のそしりをつゝむ心のいとまなくあふさきるさに思ひ亂れ、さるはひとり寐がちに眠とらむ夜なきこそをかしけれ、(二)さりとてひたすらにたはれたるかたにあらで、女にたやすからず思はれんこそ、あらまほしかるべきわざなれ」

と、彼はかくして狂ひ戲るゝ戀ををかしと笑ひて、女にやすからず思はるゝ戀をあらまほしと揚げて居る。而してこれは今日も變らぬことで人情は古今とも同じだと云ひたい。

○彼は戀愛を以て人情の自然だとして許しながら、色慾の恐るべきをも論じて居る。かくて

○「世の人の心まどはす事、色慾には如かず。人の心は愚なるものかな匂ひなどは假のものなるに、しばらく衣裳に薫き物すとしりながら、えならぬ匂ひにはかならず心ときめきするものなり。久米の仙人の物あ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

宮家御用

特製ライラック水

先づ本品を用ひて肌を整へます、白粉下、湯上り、白粉溶水として此位便利な品は御座いません特製品を御求め下さい

ハイジエニッククリーム

其上へ本品の極少量を御顔へ御塗り遊す事、本品は白粉下、荒止、として經驗上無類です、クリームの附きたる手を拭き

理容白粉

最後に自慢の理容白粉を御用ひ下さい本品は永年の實驗より生れたる逸品でノリノビ自在美しき御化粧が出來升

御婚禮御化粧御仕度
懇切に御高嘱に應じ候
遠藤波津子

特製ライラック水		.70 .50 .30
ハイジエニッククリーム	押出 瓶入	.40 .60 .45
理容白粉	顔用 襟用	.50 .35
固形ぬか	一打入 五打入	.15 .65
マッサージ用クリーム		1.50 85 .50
ガーゼ手拭		.12
美顔術箱		4.50 3.30

三越　白木　松坂屋　松屋　白牡丹　關口　各店に有之

新橋竹川町十二
理容館
電新一五一九 振一四一〇〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東京市麹町區内幸町一丁目三番地
電話新橋長二一〇〇、二一〇一番
振替貯金口座東京一八、九〇〇番

太平生命保險株式會社

社長 中村靜嘉
專務取締役 楠秀太郎
取締役 村井貞之助
取締役 內野五郎三
取締役 前川善平
取締役 倉知誠夫
取締役 左右田棟一
取締役 舟木錬太郎
監査役 潮田方藏
監査役 左右田信二郎
監査役 中田敬義

花柳病豫防液

ゼニール

専賣特許

旅行家は必ず本劑の
携帶を忘れ給ふな

「ゼニール」は花柳病の感染を豫防する未曾有の特効を有し之を裝置する安全注入器は携帶至便小形堅牢なる特許品にして秘密使用に恰適す、花柳病の恐るべき害毒を知る諸士の忘る可らざるは此「ゼニール」本店は勿論何處の取次店も大に歡迎す決してきまりわるがり又は僅の金をおしみ給ふな、特に夫に病毒ある妻君は是非此藥を用ひられよ、說明書あり申込あれ

御婦人は藥液ばかり
でも間に合ひます

精錡水はヘボン大博士の文明的理想の處方にて調製せる目藥にして幾千萬の患者を救ひし事は世間に定評あり

東京銀座
岸田吟香商店

定價

特製(器械・藥液)	一組	二圓
甲種(器械・藥液)	一組	壹圓五十錢
乙種(器械・藥液)	一組	七拾五錢
藥液ゼニールのみ	一瓶	廿五錢
送料	各	八錢

にきび、たむし、しつ、ひぜん等に著しき効力あり

定價 五戔・十戔

東京銀座
岸田吟香商店

東京銀座貳丁目 發賣元 精錡水本舗 岸田吟香 振替東京四七八七番 電話京橋六一五一番

腦病精神病專門

東京巣鴨町四丁目巣鴨電車終點先二丁

巣鴨腦病院

(長電話番町三〇九八)

院長　醫學博士　石川貞吉

入院隨意

●らい病

患者と血統者に急告す

秘密療法及豫防新書を送費二錢送れば無代送呈す一日遅れば千日の悔あり今直に申込め秘送は小包料八錢要

東京下谷車坂町五二　福田秋水

腦神經精神病

東京赤坂　帝國腦病院改

青山腦病院

院長ドクトルメヂチーネ　齋藤紀一

醫學士三名

田澤醫學士

特長

電芝二七四五

電芝二六六五

電芝三六七四

皮膚病一切　たむしの妙藥

タムシン

東京市京橋區入舟町四丁目

本舗　橋本進世堂

振替東京二二〇六五

肩ノコリ、神經痛、リウマチス總て痛所に妙効あり(五錢●十錢●二十錢●五十錢)全國到る處の藥店にて販賣す

東京市日本橋區箱崎町二丁目　東京製藥社

諸官衙各學校御用

萬年筆専門

輸出入各種萬年筆卸賣

陶玉萬年筆

人造水晶筆

最新式ラセン萬年筆

透明萬年筆

其他文具品各種

東京淺草區駒形町四十三

合資會社 共盛社

營業部

電話下谷六〇一九番

振替口座東京七四二三番

家傳靈藥

ぢの藥

自宅ニテ安全ニ治ル

●イボ痔●痔痒●裂痔●痔出血●脱肛痔●痔瘻●不灼不切現狀の儘で治療奏効頗る顯著の家傳靈妙藥あり「ハガキ」にて申込有ば病原理由自宅自療法の說明書呈す

●東京市京橋際疊町壹番地

製藥本舗 小松盛林堂

電話京橋二一九七

產婆看護婦派出
生徒養成

東京市芝區三田四國町二番地五號

東京衛生團 產婆看護婦部

電話芝八百六十四番

部長 產婆看護婦 山下まつ子

府下荏原郡大崎町大字桐ヶ谷三百五十九番地

產婆部 大崎支局

產科婦人科
小兒科

（宅診午前 往診午後）

內藤新宿番衆町三一

女醫 井出茂代

電話番町三六七七番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

産科婦人科小兒科

鷲山改め
女醫 **吉岡彌生**

院長診察 宅診午前 往診午後

醫員診察 午後

産室及**病室**の設けあり隨時入院の需めに應ず

東京麹町區飯田町四丁目卅一番地

東京至誠病院

（電話番町二二五七番）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

於東京大正博覧會

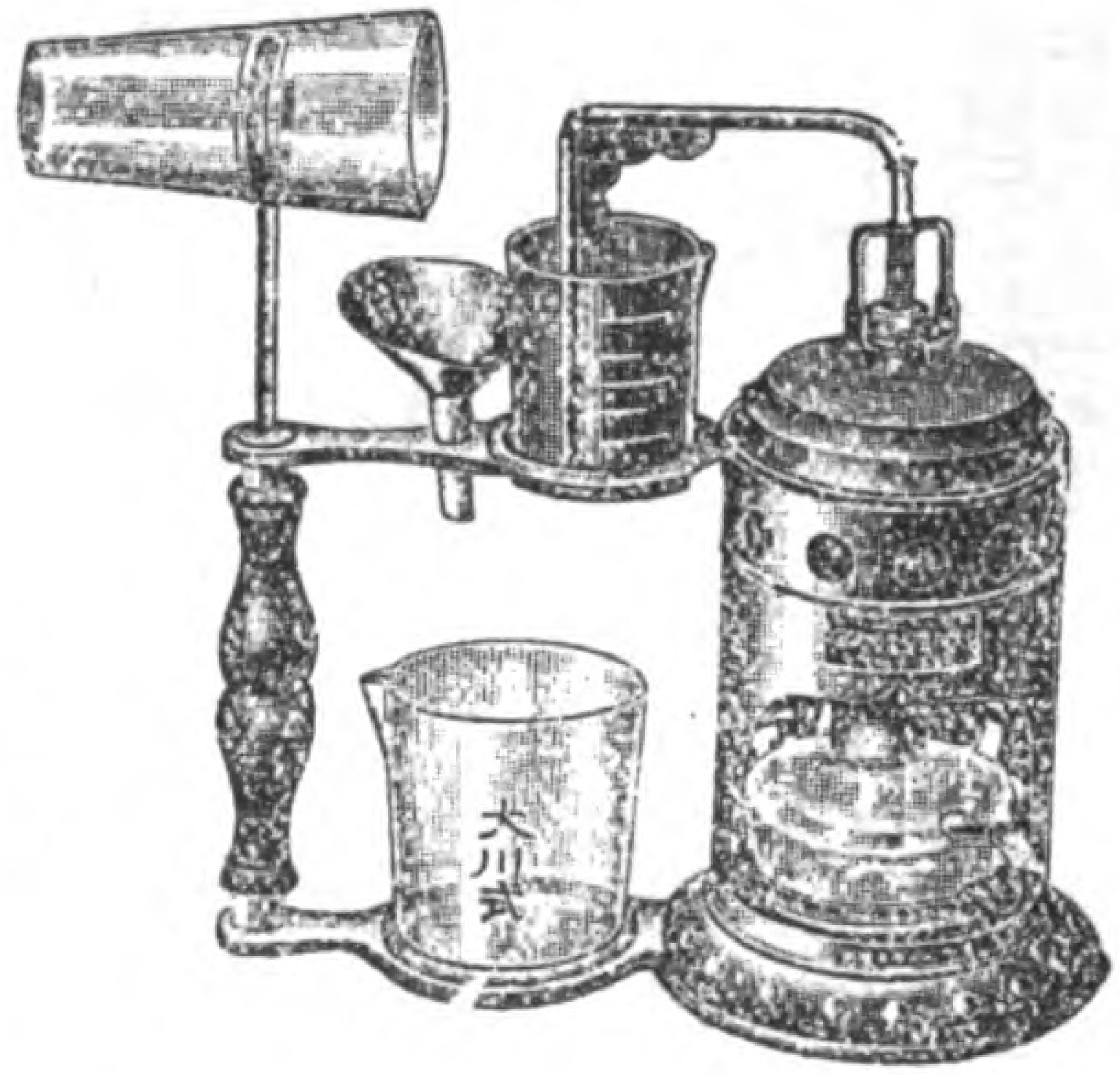
銅牌受領

最新特許

大川式安全吸入器

最新特許

事實は何よりも之を證す、大正博覧會に數ある同種出品物中銅牌を授與せられたるは唯獨大川式吸入器のみ



絶對に安全なる大川式安全吸入器

特長

■釜は金屬絞出製（スプリング）に依り安全瓣をなせば破裂の憂なし
■釜は大形にして約百五十瓦の容量にして薬液コツプ六バイ迄は吸入持續す
■滴は前後に垂る事なく漏斗に依り下部の滴受に流入す
■酒精洋燈の下部は硝子製なれば酒精減少有無明瞭す
■注水の際漏斗を釜へ差入注水して排水の場合は漏斗を釜へ差入たる儘排水す
■ゴム引胸掛布一枚宛吸入器へ添付す

壹具金壹圓八拾錢　送料 内地拾六錢 殖民地四拾錢

各醫科器械店及有名薬店にて販賣す

發賣元

大阪市東區道修町三丁目　電話本局一三八九番　振替口座大阪三五〇七番　村中兄弟商會

名古屋市東區京町二丁目　電話二〇七番　振替口座東京八二九七番　八神幸助

東京日本橋區本銀町四丁目　電話本局一六八五番　振替口座東京一九六〇番　（いわしや）大川銀三郎

朝鮮京城南大門　新井大薬房

朝鮮釜山辨天町二丁目　日清製薬株式會社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ホシ胃腸藥は日、米諸大家の最新の處方に依て調製せし特効劑なり

定價

二日分	十錢
六日分	二十錢
十八日分	五十錢
四十日分	一圓

他に醫藥、賣藥四十有餘種各特約店にあり

顧問

醫學博士 理學博士 野口英世

ドクトル 杉本順造

資本金百萬圓

星製藥株式會社

東京京橋

電話京橋特一七八五 振替東京二〇五二二

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

らふ女の、はぎの白きをみて、通を失ひけんはまことに手あしはだへなどのきよらに肥えあぶらつきたらんは、外の色ならねば、さもあらんかし」

と說いて居る。而して『匂ひには必ず心ときめきするものなり』と言つて居る。この心のときめきの程度が問題で、戀の恐るべきものであることも、この程度の如何によつて決せらるゝものである。この心のときめきを調節してゆくところに、その人のゆかしさはあるもので、調節しえぬものはあさましい人といひたい。

○法師は婦人の美の大かたは髮にあるといつて居る、即ち『女はかみのめでたからんこそ人の目立つべかめれ』と書いて居るのはそれである。更に法師は、愛着の念に深きは女であることを論じて居る。

○『事にふれてうちあるさまにも、人の心を惑はし、すべてうちとけたるいもねず身を惜しとも思ひたらず、堪ふべくもあらぬわざにも、よくたへしのぶは只色を思ふがゆゑなり。誠に愛着の道、其根ふかく源遠し、六塵の樂欲おほしといへどもみな厭離しつべし、その中に、たゞかの惑の一つ止めがたきのみぞ、老いたるも、若きも、智あるも、愚なるも、變る所なしとぞ見ゆる。されば女の髮筋をよれる綱には、大象もよくつながれ、女の穿ける足駄にて作くれる笛には、秋の鹿必ず寄るとぞいひつたへたる、自ら戒めて恐るべく、愼むべきは此惑なり」

と、これは愛着の道に深か入りして免るべからざる惑となることを戒めたもので、それだけ女は愛着の念に深いものであるといふことを論じたものである。さて六塵の樂欲みな厭離し得るとも、たゞ愛着の道ひとり棄てがたきは、人情の自然慾であるからで、男も女もこの愛着の念を調節して行くことは倫理上からも、亦生理上からも必要である、法師の着眼もそこにあつたらしい。

○若きときは血氣盛なり、これを戒むる色にありとは支那の聖人の敎であつた、法師も亦その思想を繼ぎて次のやうに論じて居る。

○『わかき時は血氣うちにあまり、心物に動きて、情慾多し、身を危ぶめてくだけやすきこと、珠をはしらしむるに似たり、(中略)このむところ日々に定らず、色にふけり、情に愛て行きいさぎよくして、百年の身をあやまり、命をうしなへる例願はしくして、身のまたく久しからん事をば、思はず好けるかたに心引きて、ながき世語りともなる。身をあやまつことは、わかき時の所爲なり」

といつたのはこれである。かくして、今日いふところの性慾敎育の必要も起つて來る、而して性慾敎育が如何にして行はるべきかは敎育上當面の實際問題であ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る。

○性慾教育の必要は、豈に獨り若き人のみならんやで四十ごろの人にも夫れが必要であることは法師も論じて居る、卽ち『四十にもあまりぬる人の色めきたるかたおのづからしのびてあらんはいかがはせん』といひて、その年になりての好色のよきことにはあらねど人情なれば是非に及ばずと、間接に抑へて居る。

以上を通じて法師の戀愛に對する感想を窺ふに男といはず、女といはず、戀愛は一定免れがたきさだめである。しかし免れがたきさだめとはいへ、その情の走るまゝにまかすは危險である。さればこの情から起る心のときめきに調節を與へねばならぬといつて居る。性慾の調節とは卽ち節慾である。又彼は愛着の念深きは男よりも、女であると斷じて執着の恐るべきを説いて居る。而してこの思想は當時一般に論ぜられて居つた佛説に基く女人罪惡説に影響せられたものといはねばならぬ。

○彼は又兩性關係について次のやうなことをいつて居る。

○「妻といふものこそ男の持まじき物なれ、いつも獨りすみにてなど聞くこそ心にくけれ。（浦山しなどの意）誰がしが聟になりぬとも、又いかなる女を取すゑて、あひ住むなどきゝつればむげに心劣りせらるゝわざなり」

これは定まりたる女を持ちて同棲するよりも獨住みを心安しとするもので、されば『いかなる女なりとも。明くれ云ひ見んには、いと心づきなく、にくかりなん女のためも半空にこそならめ、よそながら時に通ひ住まんこそ年月へてもたゝぬ交情ともならめ、あらかさまにきてとまり居などせんはめづらしかりぬべし』と結んで居る。これは夫婦など云ふ羈絆にしばられずに情のゆくまゝに樂まんとするもの、所謂氣分を換へて甘き戀に樂しまんとする自我的享樂主義の戀愛生活である。この享樂主義の戀愛生活には男女相互間に責任の觀念の充實して居らぬ、唯、藝術的に、又は遊戲的に甘き戀愛に耽溺しやうとするものである。かやうな戀愛觀は社會的の人類の進歩發達に何等の寄與をなさぬものである。何故といふに、藝術的又は遊戲的戀愛

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

生活は主我的享樂をのみとらうとする、從つて種の保存卽ち自己繼續といふことを沒却するからである。

○近頃問題になつて居る岩野泡鳴氏夫妻の紛爭一件の如きも藝術的又は遊戲的戀愛生活の一例ではあるまいか。

　世の中には屢々妻を離別して遊戲的に女を換へる惡癖の男がある。自分はかゝる男を惡むものである。それは女を遊戲的に弄ぶからである。この點に於て從來の日本の女は弱きものである。これはどうしても强きものとなさねばならぬと思ふ、それには男も同情して女の地位を强くすることに努めねばならぬと思ふ。さてかう考へて來ると泡鳴氏の妻に對するやり口は兼好法師流で遊戲的に戀を樂まうとするもののやうである。同氏は子供がある、これによつて種の保存卽ち自己繼續は出來て居るやうである。しかし彼は第二の自己を完成する上について甚だ不用意である。又從つて無責任である、何故といふに、子供の養育には父母協力して敎養することが必要條件である、而して不規則な、又は不完全な家庭では完全なる子供の敎養は出來ぬものであるからである。されば父母たる泡鳴氏と淸子さんと別居した家庭は完全な家庭であるでせうか、而して其處に敎養せらるゝ泡鳴氏及び淸子さんの子供は幸福の子であるでせうか。

○終りに法師の對女人觀をうかゞふに、さきにもいつたやうに、彼は女を愛着の情に執念深きものと觀じた許りでなく男にくらべて劣れるものと定めて居る。卽ち、

○「すべてをのこをば、女にわらはれぬやうに生ふしたつべしとぞ。(中略)女のなき世なりせば衣紋も、冠も、いかにもあれ、引つくらふ人も侍らじ」

といつて、まづ女に對する男の心得を說き、兎に角にも女の存在の必要なるをも論じて居る。しかし更に一轉して次ぎのやうに說いて居る。「かく人に耻らるゝ女いかばかりいみじき物ぞと思ふに、女の性は皆ひがめり、人我の相ふかく、貪慾はなはだしく、物の理をしらず。たゞまよひのかたに、心もはやくうつり、言葉もたくみに、くるしからぬ事をも問ふときは言はず、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

用意あるかと見れば、又あさましきことまで、とはず語りに言ひ出す。ふかくたばかりかざれることは男の智慧にもまさりたるかと思へば、その事あとよりあらはるゝをしらず。質朴ならずして、拙き物は女なり。其心に從ひて、よく思はれんことは心がかるべし。されば何かは女のはづかしからん。もし賢女あらば、それも物うとく、すさまじかりなん。たゞまよひをあるじとして、かれにしたがふとき、やさしくも、面白くも覺申べき事なり」と。彼は女を男よりも劣れりとするは、その性質に於て、又その智慧に於て劣つて居るものとするもので、唯女を愛する道はたゞまよひをあるじとして女を取扱ふときに優さしくも、又面白くも覺えるものとすることで、畢竟は遊戯的に戀愛から享樂せんとするものである、言ひ換ふれば主我的享樂主義の戀愛生活に女を犧牲にするものである。この兼好法師の戀愛觀は過去の思想で、現代の思想ではあらぬ現代の思想は主我的享樂主義の戀愛生活よりは、更に更に進んだ相互的責任主義の戀愛生活を標的として居る。それ故に從來劣れりと見られた女の性情を向上せしめ、且つその智能を啓發せしむることは男の努むべき責任である。又女は從來のやうな無意識的屈從の狀態から脫して、自覺的に、その性情を向上し、その知能を啓發することに努めねばならぬと思ふ。而して是れ故に現代に於ても一の病的現象として唱へられて居る主我的享樂主義の戀愛生活を排するものである。

本能の教ゆる健康法

西川光次郎

本能

數年前、マアチニキユ島に慘事のあつた時、動物は其の慘事を前知して他に逃げたが、人は之を前知する能はずして死んだ。先年桑港に大地震のあつた時も、大地震を數時間前に前知して、犬は町の外へ逃げて行

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

つたが、人は前知することが出來なんだ。又或島では何時地震があつても、土人は一人として死ないが、在住の文明人は、能く慘死するとのことである。

我國にも同樣の話がある。先年櫻島が爆發した時、無學なる者は、鳴動が始まると逃げ出して助かつたが學問あるものは測候所へ問合せて安心し、其の爲め遂に慘死するに至つた。

此等の實例は、云ふまでもなく、本能の大切なることを語つて居るものであるが、人間が文明と共に病弱となりし事の如きも、卽ち本能を無視して、自然と離れた結果に外ならぬのである。ソコで私は本能の敎ゆる所に從ひ、健康を維持し、若しくば健康を回復するの最良方法として、左の事柄の實行を世人におすゝめしたいのである。

自然浴

高原に棲む動物も、時々谷間に下りて水浴をする、半身を水につけて尾などで、水を身體の他の部分にかけるのである。鳥の水浴法は川の淺い所へ這入つて羽根で水を全身へかけるのである。人間も太古に於ては動物と同じ樣に、半身を水中に入れて、手で他の部分へ水をかけ水浴をしたものであつた。

其後文明の進歩と共に、水浴をすてゝ蒸氣浴溫浴などをする樣になつたが、蒸氣浴や溫浴は身體を弱くするから止めて、水浴にするがよい。其の水浴も全身を水中へ入れてするのでなく、太古人のして居た樣に、半身浴にするがよい。縱ひ瞬時にもせよ、水に棲む魚の全身を空中へ引き上げては、魚が弱る樣に、空中に住む吾々も、縱ひ瞬時でも全身を水中へ入れると弱る。之れ半身の水浴をすゝめて之れが自然浴だと云ふ所以である。

夏は時々、雨降りに裸體で屋外に出で、雨浴もするがよい。冬は身體に雪をつけて見るのもよろしい。

日光浴と空氣浴

植物を暗い室に置くと、直ぐ色が惡しくなるが、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日光の當る所へ出すと、直ぐ又元の様になる。動物も日向を悦こぶこと非常である。人間も同様であるから、裸體になつて時々日光浴をするがよい。

端西アルプス山の或溪谷に於ては、一日太陽を仰ぐこと僅に數時間に過ぎないので、其の結果、其地の住民は、婦女子は凡て甲狀腺腫を患ひて奇形の醜貌を呈し、男子は大抵天性白痴なるも、彼等を此の溪谷より山腹へ移住せしむれば忽ち其の心身の狀態一變すと云ふ。

小供でも大人でも、熱病にかゝると蒲團の外へ出よう／＼とする、ソレを不可ません不可ませんと、看護人は一生懸命になつて制止するが、それが宜くないことです。冷たい空氣に病熱を緩和する力があるのであるから、病人は本能で知つて而かしようとするものであることを、知らねばならぬ。寢苦しい時には裸體で寢床の外へ出で、暫らく室内を歩き廻はるとよい。又皮膚を風に當てると、皮膚は次第に強壯になる。其他色々の利益があるから、時々裸體になつて空氣浴をするがよい。

土の効能

狐は其の穴の中へ色々なものを引張り込むが其の寢る所は土の上で、何んにも敷いては寢ない。吾々も跣足で冷たい土の上を歩いたり砂の上へ裸體で横になつたりする時に、云ひ知れぬ愉快を覺える。

豚が病氣にかゝると、外へ出してやり、數時間、一匹で土の上へ寢さして置くと必ず癒る。南亞不利加の土人は、手や足に怪我をすると、土を掘つて其の中へ怪我した足や手を入れて、之れを癒すのである。或村で一人の百姓の娘が、毒蛇に咬れて全身に浮腫が來て醫者がモウ駄目だと、匙を投た時に、其の娘の父はフト數年前旅人から聞た話を想起し、大急ぎに穴を掘せて、娘を首まで土中に埋めた。ソレから六時間して堀り出して見たら、娘は全快して居たとのことである。

今日砂浴がよいの、傷に土をつけるのがよいのと云ふのは、本能に從て野蠻人のして居たことを眞似るの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

であるが、確かによい。神經衰弱は跣足で歩くと直ぐに癒ると云ふのなども、同じ道理である。

自然と食物

人類は最初果物を生食して其の身體を養うて居たのである。今日でも、サウス、シー、アイランドの住民は果物の外何んにも食べない。米國桑港にも果物ばかり食べる宗派の人がある。此等の人々は病氣を知らず、且つ何時までも若い。ソレに見ても、人間が食物に於ても邪路に這入つたことが、病弱の原因であることが知れる。故に若し果物と簡單に料理した野菜とを主食とすることにせば、自然に食過ぎなどをせぬ樣になつて、健康を維持することが出來る。同じ果物でも野菜でも、作つたものよりは、自然のもの丶方が、人の身體によい又果物は半熟を食べるがよい。本能は恐ろしいもので、豚でも、鳥でも、亦猿でも能く此の事を知つて居る。豚に熟した果物と熟せざる果物とを與へれば、熟せざる方から食べる。櫻桃を食べに來る小鳥を見るに、半熟のを食べて、熟したのは食べない。猿は熟せぬ果物は其のまゝ食べるが、熟した果物は皮をとらぬと食べない。

食事の時間に就ても、人は本能を無視して居る。自然の狀態にある動物を觀察するに、朝は食べない、夕方になると食物を食べに出る。古代の宗教に夕方を食事時としてあるのも、本能を主としての定めである。今日に於ても食事の時刻を改正して、夕飯を主食として朝や晝は食べぬ方がよろしく、若し食べるとせば、極く輕く食べるがよい。

以上は、アドルフ、ジャストの『自然に歸れ』の梗概であつて、獨逸のジユニグボルンには此の趣旨に從ての保養所が出來て居る。其所へ行けば、日光浴でも、空氣浴でも、自然浴でも、乃至は砂浴でも男女共に便利に出來る樣設備がしてあり、木造の小屋に一人、若しくば一家族づつで宿り、食事は果物を主としてさすと云ふ風にしてあるとのことである。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

我國でも東京、大阪の如き大都市の住民に對しては四季を通じ、便利に砂浴、日光浴、空氣浴の出來る設備をしたならば大きに市民の爲めになることと考へる。誰れか率先して此の事業に着手する人はなきか。

英國婦人名登記と婦人學士

からさはじゆんせい

亞米利加の婦人學士が職業難で苦しむで居る事は此前號に一寸かいた。英佛の婦人は之に反して仕事の多いのに苦しむで居る。之れは戰爭の爲めに婦人の職業上の世界が開けたからである。

英國では此間敎育ある婦人名登記の規定を作つて、それが大分英國婦人仲間の問題になつて居る。

戰爭が始つて以來國內の男子は戰場に向つた、自然の結果として生じた空席は殘つて居る婦人に依つて充たされなければならぬ。實際、從來これ程男女の間に於て職業上密接の關係は見出されなかつたのだ。こんな破天荒な事件でも起らなければ婦人の職業上の地位は中々急に展開せられるものではない。婦人の有して居る潛在勢力の啓發は沒道義な色々の邪魔物の爲めに壓へつけられて居たのだ、それが戰爭と云ふ一大事件の爲めに、智識の太陽が輝き出したのだ、人々の心に覺醒が來たのだ。黎明の初光が見えだしたものだ少しばかりではあるが開戰後半歳で既に男子の職業地位に代る事が事實に於て出來たのだ。婦人の職業の田園が見出されたのだ。必要は總ての障害を打破すると云ふ事が證明された。娘達は從來その男兄弟によつてなされて居た爲事の園に赴かねばならぬ、父親の握つて居た家族用自動車のハンドルをまはさねばならぬ、敎育婦人は男子敎員の受持つて居た生徒を敎へなければならぬ事になつた。アダムが匙鍬で壕塹を掘つて居る間はイヴは鋤で小麥畑を耕やさなければならぬのだ、婦人の敏感な指先で、精密な然し男性的粗暴な軍需品――銃砲彈藥は製造せられつゝあるのだ。

圓い孔へ圓い釘を打ち込むのは都合のよい事である

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

しかし圓い孔へ四角な釘を壓し込まなくてはならぬ必要の場合もある。未成年の娘を自動車の運轉手として過劇な勞働を強ゆるのはよくないが、させなければならぬ社會の狀態も發生して來る。人間が獸の樣に其同胞を殺し合つて居る最も恐るべき時が初まつて居るのだ。

戰爭は一般工業界に異常な多忙を齎らした、而かも一方に動員は職工を戰場へ奪ひ去る結果、そこに種々の反對する邪魔物があつたにも係らず勞働婦人はかゝる工場内に彼女等の職業を得て漸次食ひ込んで行つた。

又、專門の智識を有する婦人の相當な職業も戰爭の爲めに生じて來た。而して彼女等は、婦人は融通性を有して働く事が出來ると云ふ事を證明したのだ。

是れは婦人側から見たのであるが、國家として考るべき今日の實際問題は、婦人の色々の技術や經驗の可能性を、敵を滅ぼす上に如何にして利用すべきかの問題である。之の問題に對しては誰も看過する事が出來ない、目下は研究すべき好機會にあるのだ。國民としての婦人は男子と同樣に國敵を討伐する上に直接の關係を有して居なければならぬ。又國家の戰時政策としても一般國民に最も利益ある仕事を割りあてゝ、作業を強ひなくてはならぬ。國民は、勿論男女の別なくお互に助け合はなければならぬ。

そこで本年(一九一五年)の春に英國政府は有志の婦人に對して、戰爭に依つて空席になつた男子の地位に代つて働らく事を諮つた。つまり國内の勞働、事務家の豫備軍である。然しその當時には何等婦人連の注意を引かなかつた。日々多くの專門的勞作について居た男子が戰場に向つて空席が增加して行くにも係らず、同樣の技倆ある婦人はそれを滿さうとしなかつた。更に政府の商務局は大學出身婦人聯合に數々誘引的注告を與へて、搾乳人、機械師及軍需品製作者として相當期間訓練を經て實地に働らく事をすゝめた。

勿論さうした職業をしやうとするなら、或一方にかたよる性質の者は不適當であり、又さうした仕事をす

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る事によつて自分の地位だとか品性だとか自負心だとかを寄せられ自分を貶すものだ等と考へる樣ではならぬ。又元來自分の慣れた以外の仕事に對しては能率が大に減ずるものであるから、なるべく其人の腕に適した方面に向はせるのは必要である。

そこで大學卒業婦人名簿が出來て、職業婦人を要する者は婦人同盟會に申込めば直ちに名簿によつて相當の婦人を幾人でも送る事の出來る樣な計畫を立てた。それは、オックスフォド大學の提議で行政官（Executive）の贊成があり、一九一五年七月十九日の婦人同盟會の年次例會（The Annual Meeting of Federation）で議決認可された。

然しこれは直ちに實行はされなかつた、と云ふのは政府で國民名簿登錄決議會（The National Registration）で議論があり、副議長が此の大學卒業婦人名簿の作製を政府の計畫して居る國民名簿登錄と別個のものとして進行させるか又は前者をも後者の中に含ませるかについて提議したからである。然し種々研究の結果便宜と經費の關係上矢張り職業婦人學士名簿は夫々大學の意向に一任する事にし、英國各地の大學校に通達した。その告知書には種々の事項が詳細に記してあるが、今其一部を參考の爲めに左に飜譯すれば、

○國民名簿登錄は必ず非常に大規模のものとなるであらう。而してそれは地方に土臺を置かれなければならぬ。それ故に一々各職業別によつて勞働者（Worker）の名簿を作る事は非常な困難事であるか又は不可能に屬する。

敎育ある婦人は前記登錄の兩者に入會するだらうけれ共、獨り婦人同盟會名簿（Federation Register）のみ多くの大學や專門學校の經驗を有する事となる何れにせよ、それ等私人のなす名簿登錄は政府の手によつてなさるる計畫に有益な補佐となるは明かである。

兎に角小規模の名簿作製は、大規模のものよりも容易に又直ちに出來る筈である。

戰爭が終つて、世界に平和の春が來ても尙婦人同

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

盟會名簿は永く必要な書類として政府の手に存する事となる。

かゝる名簿の差し當つて必要な一例としては、大學や專門學校卒業婦人の如何に多くが小學校敎員を志願して居るかが判れば、直ちにそれを文部省に通知して、さうした婦人には一時的でもよいから敎員としての資格を認可し證書を交附しなくてはならぬ。

之の手紙に對して各大學からは賛成の意を表して來たので、本部では直ちに一定の書式を作つて七月十七日にロンドンから地方の大學へ發送した。而して七月廿二日には第一着としてオックスフォドから空欄へ記入した書式が返送されて來た。ケムブリッヂからも其夕方の便で本部へ配達された。それからと云ふものは大洪水の樣に書式の發送がなされた。

最初の一週間は僅かの人々の手で仕事がなされたから隨分目のまはる樣に忙がしかつたが、次の週からは諸方から同情と助力とが申出でられた。澤山の書式を地方へ發送するのだからとて、多くの婦人——大學卒業の——は手傳を本部へ申し出でて來た。又ハムプステッドの或る大きな家を無料で事務所に貸して呉れたり、タイプライタアを持ち込んで來たり種々の好都合が湧き出て來たので、之に要した費用は極僅少な額であつた。

かくして出來上つた名簿は、各大學より通知して來た卒業生の性格や技倆等を基として種々の部門に別けられて居る。卽ち色々の職業別になつて居るので適所に適材を置き得る樣にしてある。

此の名簿作製の目的は前に云つた樣に勿論戰爭で國內に空席となつた男子の地位に代らせるにあるが、又永久のものとして戰爭後迄役立たせやうとして居る。

本誌新年號は 家庭改良號

とするツモリ、家庭改良に關する投書を募集す。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

父の死

近藤なを子

父死すと云ふ電報に驚いて、常着のまゝ四谷の叔父の家まで急いだ、十月七日は大雨でした「此の雨によく來たね」と言ふ叔父を見たら涙はもう遠慮なく流れ出るのでした、電報を渡すと驚いて、「是れは困つたね」困つた事が出來たとばかり繰り返された、やがてしつかりせよと汽車を注意して少しも早く歸る樣、言はれて汽車の停車するひまももどかしく原町田に着いた迎に來た人が頼んでくれた人力車に乗つて住みなれた山路にと入つた、多勢の人聲の悲しき涙をさそふひゞき、何方より這入らうかと迷うて居ると涙の滿てる目もて姉が招ねがれた。一月以前見た其の時のまゝ少しも變らぬ亡體にすがつて人目もはぢず泣きて泣きもがいた。

兄姉妹等がそばに居るのに氣付いた頃、兄が、「あまりに急なことで、妹等は家に居てさえ死に目に逢へなかつたのだ」と言ふと妹は烈しく泣き出した。姉が、「好きで東京へ行つて居たのが悪いのです、御覧よ父の御顔を今にもお笑ひになりそうぢやないか、あの善きお顔を御覧、卒倒した時に其の儘とならず、こゝに來て兄と言葉を交はしてから逝かれたのは御生がよいと言ふのでせう、泣くと佛が迷はるゝとか安らかに眠ります事を祈るこそ孝行者であると云はれた。よくなる大丈夫だと言ふのをむりに醫者を頼みに行つた事等兄がいろ〱と話して下だすつた。父の旅着の白衣を私の分にと遺してあつたのを急いで縫つた。母の時は未だ幼くて知らなかつたから、父だけは及ぶ限りの御世話をしませうと言交して居たのにね」と言ふと妹は聲を立てゝ泣いた。斯く老ゆるまで苦勞をかけたまゝにしてあゝ我等程不幸者がありませうかと伏して泣いた。伯母が「返らぬ事を云ふよりは自分の身が大切です、あまりになげかぬ方がいゝ」といろ〱と云つて下さつた。翌日是れが見じまひとてごつぎのふたをとつて見た。昨日とはまるきり變りはてゝ居るのに、又も悲しさ烈しくなりあたりも暗む樣なる心地にて其の場に倒れた近所の人が、見ぬ方がよい見ぬ方がよい」とてかくして了はれた。お經の聲も又人の讀まれし經文も、あまりに悲しい淋しいひゞきでありました。墓まで送る道を、しつかりなさい〱とたれやら知れず手を引いて下すづた。うづめる時にたく火の煙り墓中を煙らした烈しい鐘の音と共に全く地下の人となつて了はれた秋の夕ぐれの風はのきばを吹き荒れて居る。淋しい家には新らしき佛の前に香の煙りが小暗き樣をして煙つて居る。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

福澤諭吉の婦人觀（下）

大月高陽

五、一夫一婦主義と再婚論との關係

其處で問題となることは、一方に於て一夫一婦の主義を主張しながら、再婚を肯定するといふことは嚴密なる意味に於て如何なるものであらうか。若し、一夫一婦といふことが動かすべからざる、即ち最も高い人間の心の要求であるとすれば、夫たる者の肉體の解體といふことに依つて、その法則が價値を失つても可いものであらうか。換言すれば、一たび夫婦の關係を結んだものが、死といふことに依つて、死に殘つた妻が更に第二の夫婦關係を作るといふことは、第一の夫と夫婦關係を結んだ高い要求と相容るゝことが出來るであらうか。是は從來の儒教道德の敎ふる所に依ると、相容れざるものであつた、一たび相愛の夫を失つた女は死に殘つたものとして孤節を守ることを以て、夫在世中の一夫一婦關係の延長と考へてゐた。これは一面に於て、非議すべきものでもない。されば福澤諭吉の婦人觀に於ても、夫の死後孤節を守ることの出來るものを罪惡を犯したものだとは云はなかつた。けれでも前にも云つた如く、彼は女情を重んじた。而して其の理由の一つとして、情欲は到底制止すべからざるものであるといふことを承認して居つた。時には、當時厭はれてゐた早婚すら害のあるものではないといふやうなことまで云つた。また、人事に裏面を忘るべからず……斯ういふことも云つた、即ち彼は、心理的並びに生理的の事實に即して、再婚また必ずしも不道德ではない。否、到底制止することの出來ない情欲を壓迫して、不自然な生活をなしながら、孤節を守るといふことの、人間自然の法則に悖るといふことを認めたものである。要するに論理的の形式から云ふと、玆に彼の思想の、破綻を見出さねばならぬ。然らずんば、婦人

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の再婚を肯定した事柄は、彼れ一夫一婦主義を主張した萬一の例外の場合として是を肯定したるものといはなければならぬ。併しながら、前既に述べたやうに福澤諭吉の人生觀に於ては、當時の實際情態に鑑みると、一夫一婦の主義を婦人の側に提唱するといふことよりも、婦人の再婚を勸めることが、その社會情態に於て最も緊急なる問題であつた。一夫一婦の主張は男子の品行論に對する堂々たる論陣を張る影法師として、左程力說する必要のなかつた一夫一婦說を婦人の側にも提唱するやうになつたのである。今その一例を擧ぐる爲めに、二三の言を引用して見ると、彼は、國光一點の曇りと題して、頻りに國民道德の缺點たる女子に嚴にして男子に寬なる品行論に就いて、堂々たる論陣を張つてゐる。これは、維新當時に於ける我上流社會の人々が、常に外國人より非難せられ、且つ又、臆面もなく不品行の行動があつた事實から出發した所の議論である。また、「婦人の再婚」といふ一節に、斯ういふことを云つてゐる。

「我國の習俗は、男子は後妻を娶るに躊躇せずして、再三妨げなきが如くなるに反し、寡婦の再縁する者は割合に多からず、或は漸く老境に入りたる婦人にも子供も多しなど云ふ事情なれば、多少考ふるべき所ある可きなれども、三十前後未だ四十にも足らぬ年にてありながら良人を喪へば乃ち目するに未亡人の名を以てし、恰も良人と共に死ぬ可き所を、不思議に生き殘りたるもの丶やうに視做して、親戚朋友の間に、之を捨てゝ顧みる者なく、假令ひ或は家道生計等の都合に迫られて止むを得ず入夫又は再嫁することあるも、其實は之に滿足するに非ず、本人に於ても聊か恥かしと思へば、周圍の人も竊に悦ばざるの意味あるが如し。畢竟彼の古人の敎なる貞女二夫に見えずとの一句に束縛せられて然るものならん。誠に謂れなき次第なり。」

と云つて、貞女二夫に見えること果して敗德ならば、此れに貞男も亦二婦に見える可らず、彼に嚴にして、此れに寬なるは偏頗の甚だしきもので、彼の「忠臣二君に仕へず、貞女二夫に見えず」とは、一身にして同時に二國の君に奉公する勿れ、一婦にして同時に二人の夫を親しむ勿れとの意義であると云つて居る。而して、

「この立言は稍や自由なるに似たれども、斯く云へばとて、一切の女子は其結婚を輕く視て、寡を守るの要用なきのみか、隨て結び隨て離れ自由自在に進退せよと勸むるに非ず、結婚は生涯の一大事にして、既に結びたる上は死に至るまで解く可らず、夫婦一身同體にして、小心翼々、他に顧みる所あるべからずと雖も、唯人身の約束に免かる可

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

らざる死別の一段に至りては、覺悟を改めて、第二生の境に入り、神氣颯然として半點の曇りを見ずとの意を明にするのみ。」

以て、福澤諭吉の婦人觀主張の眞相を見ることが出來るだらう。

六、福澤諭吉の婦人觀の出發點

然れども、余の觀る所に依ると、福澤諭吉の婦人觀の論理的破綻の由來する點に就いて研究すべき今一つの問題がある。彼、其著福翁百話の卷頭に題して曰く

一面眞相一面空。　人間萬事遡無窮。
多言話去君休笑。　亦是先生百戲中。

と。また、人間の安心と題する一節に於て、彼は斯ういふことを云つてゐる。

宇宙の間に我地球の存在するは、大海に浮べる芥子の一粒といふも中々おろかなり。吾々の名づけて人間と稱する動物は、此の芥子粒の上に生れ、又死するものにして、生れてその生るゝ所以を知らず。五尺の身躰、僅に百年の壽命を得難し。塵の如く埃の如く、溜水に浮沈する孑孑の如し。蜉蝣は朝に生れて夕に死すと云ふと雖も、人間の壽命に較べて差したる相違にあらず。蚤と蟻と丈くらべしても、大象の眼より見れば大小なく、一秒時の遲速を爭ふも、百年の勘定の上にて論ずるに足らず。されば宇宙無邊の考を以て、獨り自ら觀ずれば、日月も小なり地球も微なり、まして人間の如き無智無力、見る影もなき蛆蟲同樣の小動物にして、石火電光の瞬間、偶然この世に呼吸眠食し、喜怒哀樂の一夢中、忽ち消えて痕なきのみ。然るに彼の凡俗の俗世界に、貴賤貧富榮枯盛衰などとて、孜々經營して心身を勞する有樣は、庭に塚築く蟻の群集が、驟雨の襲ひ來るを知らざる如く、夏の青草に飜々たる蜉蝣が、俄に秋風の寒きに驚くが如く、可笑しくも又淺ましき次第なれども、既に世界に生れ出でたる上は、蛆蟲ながらも相應の覺悟なきを得ず。即ち其覺悟とは何ぞや。人生本來戲と知りながら此一場の戲を戲とせずして、恰も眞面目に勤め、貧苦を去りて富樂に志し、同類の邪魔せずして自から安樂を求め、五十七十の壽命も長きものと思うて、父母に事へ、夫婦相親しみ、子孫の計をなし、又戶外の公益を計り、生涯一點の過失なからんことに心掛るこそ、蛆蟲の本分なれ。否な、蛆蟲の事にあらず、萬物の靈として人間の獨り誇る所のものなり。唯戲と知りつゝ戲なれば、心安くして戲の極端に走ることなきのみか、時に或は俗界百戲の中に雜居して、獨り戲れざるも亦可なり。人間の安心法は、凡そ此邊に在つて大なる過失なかる可し。

これ等の引用文が示す所に依ると、一面眞想一面空といひ、（戲れと知りつゝ戲むるれば、心安くして戲れの極端に走ることなきのみか、時に或は俗界百戲の中に雜居して、獨り戲れざるも亦可なり。人間の安心法は凡そ此の邊にありて大なる過なかるべし）など〻云つてゐる思想から來たもので、一面に於いて眞實なりと觀じながら、之を大觀すれば、人事も亦、蛆虫同然

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

のことにして、大なる自然體系より觀るときは、一つの戯れに過ぎざるものと考へてゐたのである。即ち夫存命なれば眞實の事柄として一夫一婦の節操を守り死しては、自然の大なる戯れに遭遇したる心持ちで、極めて輕く觀ることを以て、人間安心の方法と考へた夫の死に對して愛着の情に堪へず自から害ふ如きことがあつては、却つて人道の上から云つて、宜しきものでないと考へたのである。彼の、斯の如き見解は、彼の主張した處世論に於ても觀ることが出來る。譬へば(人の心は廣大無邊なり)また(世間を輕く觀よ)など、いふが如き見解を見出すことが出來る。この議論は、尋常一樣の論理的形式を以て云ふことは出來ない問題である。即ち事實に即して生きんとするのが彼の思想の特色である。概念よりも具象に、法則よりも事實に、議論よりも實際に、生活を尊重したといふ點に由來したものと觀ることが出來る。

七、福澤諭吉の人生觀

次に更に進んで彼の根本思想の如何なる點か　斯の如き結論が生ずることになつたかを終りに一言し度い。按ずるに、福澤諭吉の思想は、科學萬能主義的傾向を有する思想であつて、その科學的宇宙觀より下つて、科學的人生觀に到達してゐる。抑も、科學的人生觀の特色とする所は、理想よりも現實を重んじ、人間を目して機械的のものと見る傾向を來したのである。彼は或る場合に於ては、人間は蛆虫同樣で、何の選ぶ所がないとまで極論した。そして蛆虫は蛆虫ながらに眞面目に生きなければならぬといふやうなことを云つてゐる。これは彼の、科學的人生觀の結論として、人間は自然體系の一部分に過ぎないと觀るやうになつた點から來た人生觀と云はなければならぬ。元來、科學的人生觀は、人間を中心として考へるといふと、一つの論理的矛盾を持つてゐる。それは何であるかといふに、科學的人生觀は、一面に於て人間の能力の偉大なりといふことを自覺せしめる。それにも拘らず、人間を自然體系の一階段として、蛆虫同樣に觀る點に於て人間の價値其の物を從來の道德觀などの如く高潮しな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

くなつた。人は萬物の靈長なりなどと考へてゐた時代は、自然科學の發達に依つて夢と化し去つた。人間は猿の僅かに進步したものに過ぎない。宇宙生成の關係から觀ると、大海の粟にも比すべき程の物で、老莊などの、人間を稱して蜉蝣の身などゝ云つた口吻とよく似てゐる。其所に人間の位置は引き下げられた。しかしながら一面に於て、科學的人生觀は、人間の能力の偉大なものであることを何處までも承認する。この矛盾が、即ち福澤諭吉の婦人問題に於ける形式論理學上の破綻を來した理由である。それと同時に、現代の常識的婦人觀の論理的矛盾の由つて來る所である。然らばこの矛盾は如何に處置すべきであるかと云ふに、我我が科學的人生觀に我々の立場を見出す以上、何うしても免ることの出來ない問題である。然らば科學的人生觀の價値如何といふ問題が起つて來る。けれども、此處では主想とする論旨から遠かる事になるから、この問題に付殊更觸れないことにして置く。

八、餘論

以上で福澤諭吉の婦人觀に對しては、一通りの批判並びに紹介をした積りであるが、猶ほ一二の點に就いて特筆しなければならぬことがある。それは、福澤諭吉の婦人觀が、人種改良論の立場からして、考へられてゐたといふことである。福澤諭吉は、從來の婦人觀が儒學的で、婦人を人間としては消極的に仕立て上げてゐたといふことに反對して、心を活潑にし、身體を強健にして、よい子孫を求めんとする所に着眼して居つた。その事柄に就いては封建時代の諸侯の所生兒は人間として不完全であるといつてゐる。なぜかといふと、奧向きに奉公中の女は、君の寵愛を得ても得ないでも、色々な心配に堪へぬものである。寵愛を得れば他の女中に妬まれる。寵愛を失へば猶更物思ひの種となる。隨つて人間性情が活潑でない。心配が多くて樂しみが少ない。從つて良い子を作るといふ譯には行かぬ。彼の幾分か心體を破壞して再嫁したものゝ子は不完全である。などゝいふやうな例を擧げて、從來の婦人觀は、その心を不活潑にし、健康を害ひ、良い子孫

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を求めるのに非常に弊害があるといふことを認めて居つた。彼が、女情を重んずるといふ思想は、女子の生理的並びに心理的要求を滿足に發達させ度いと計つたものである。彼は此の事に就いて、日本の從來の醫者が、生理的の知識に缺乏して居つたからして、婦人の病氣を診察する時に、生理的並びに心理的の障害から起つた病氣も、唯だ藥物療法でのみ治することが出來ると考へて居つたこと、並びに西洋の醫書の中でも、主として形體の營養に就いての食物の精粗、過不足に就いて甚だ丁寧であるにも拘らず、女情を養ふ所の快樂の必要であるといふことを説いたものは、普通の食品論のやうに精しくはないといふことに就いて痛論してゐる。彼は女情の敎育としては、之を慰むる所の快樂を與へなければならぬといふことを切りに主張したこれが彼の男女交際論の出た出發點である。一體、女情を養ふ所の快樂其の物に就いては、從來の日本の醫者なども考へ及ばぬことではなかつた。考へてゐながら之を云はなかつた。世間の手前と云ふやうなことを考へて發表しなかつた。之はその罪社會全般の壓制に由來したものである。婦人が、社會から束縛を受けるやうになつたのは、日本の歷史の上からいふと、德川時代に入つて元和、偃武以來のことで、儒敎式の敎育で束縛するやうになつたのである。それまでは極めて自由で、常盤御前のやうな女までが再婚したものであつた。要するに德川の治世名敎虛飾の罪なりと云つてゐる。この點は一面に於て優れた觀察と云はなければならぬと思ふ。

猶ほ今一つ云つて置き度いことは、當時の女權論と彼の婦人觀との關係である。彼は、當時の女權論者が主張した程、女權といふことに就いては餘り興味を持てゐなかつた。何となれば、彼は當時の女權論者を目して、形式的に女權を擴張しやうとしてゐるのだと觀たからして、それには左程贊成しなかつた。彼の考へに依れば內實に於ては、女子の權利は非常な勢力を持つてゐるといふことを認めて居つた。實際生活に於ける女の勢力の逞ましいものであるといふことを認め

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て居つた。唯だ男子の公然たる多妻主張を禁じないで女子に貞女二夫に見えずといふ規則を何處までも嚴格に當て箝めて、女情を殺さうとした社會の弊風を止めたいと考へて居つた。彼はこの事に就いて、女が嫁すれば男の姓を冒して、女子の姓を使ふことが出來なくなる日本の家族制を非難してゐる。宜しく新しい姓を作つて、即ち男子と女子との姓の一字づゝを取つて新しい姓を作り上げるといふことも、從來の弊風を一掃するよい手段であると考へて居つた。この事に就いては彼自らも實行出來るものであるとは思つてゐなかつたけれども、家の系統を重んずる從來の思想が、家の外無一物の遺子も、養子をすれば一戸の戸主となる。家なくして家と云ひ、子孫なくして猶ほ之を家と認めるといふことは、人間世界に稀な習慣であると云つて從來の思想を反駁して、それに反對する餘りに、家庭なるものは夫婦に始まつて、親子に至る所のものを以て家と見做すべきものだと主張する餘りに、斯の如き新しい奇矯な議論を、殊更力說したものであるらしい

鹿野山

文子

十月末に鹿野山に登りました、京都では比叡や山科や高尾嵐山と春秋に度々山登りをしたのですが、東京の近郊には山がないので、毎年〳〵山登りがしたいと思つて見るばかりでしたが、今度計らずさそはるゝまゝに總房の國境にある鹿野山に登りました、『汽車の旅先ながら富士を一めぐり』東京灣を丁度一週した彼方の果から登るのです。遠く見ると三笠山のやうに丸々と青ごけの茂つた様に見るのは、わざ〳〵縣廳から植ゑつけた松や杉の苗木で、それに植ゑ並べあるので縱縞横縞に筋がたつて奇麗に見える。山と山との峽は全くの仙境で、此山盡きて彼山一つ、登れど〳〵同じ山のすがたが現はれる、路窮すれば又通じ、果しがない實に山又山の感をつく〴〵感じました。見渡す限りすゝきが野邊のやうに眞白い尾花がいづつも同じ方向にふわり〳〵靜かに、長閑に、又とない景色、『誰れ招くらん枯れすゝき』『尾花が末をあわれとぞ見る』など自から口ずさまれるのでした、風はそよと小春日和の暖かく谷深く峯の上には鳶が輪を畫いて舞つてゐる、秋草はいやが上にも茂りに茂つてゐる、人工ではとても植ゑ切れぬこんな庭が造つて見たい、全く繪にある山である、繪筆持つて來て寫したいとつく〴〵思ひました、山腹にも谷間にも見渡す限りの尾花が返す〴〵も美しいこれは刈り入れて葺ぶき屋根にするのだと云ふことです、私は初めてこんな光景な眺めました。山登りほどおもしろい事はない妙義にも筑波にも榛名にも登りましやう〳〵と嬉々としてワッショ〳〵と暮れ行く山路をすべり下りてそのまゝ列車で兩國まで運ばれました。

女性愛護の進化

高野孤龍

若しも或る女が自分の氣に入つたとしたならば其の女を愛護するのは當然の事である。これは私共の立てた事ではないから私共がどうかう動かす譯には行かない性質のものである。けれど此の女性愛護その物は常に變化し、歷史上の時代々々によつて新しい形式を取つて居る。

先づ穴居時代に於ては、男子は意中の婦女を野山に待伏せして、窃と忍び寄つて、太い棒を以て其の頭部を毆り付け、暈倒した所を擔いで己の洞窟に持つて來た。さうして女の前に己の意中を披瀝して現行の事實を辯解したのである。

幾度か此のやうな係蹄に掛つた當時の美人の腦髓は定めし悲愴なる狀態に落された事であらう。たゞ爰に奇異に思はれてならないのは、既に此の頃からして女性の智力が無視され蹂躪されて居つた一事である。

次は石器時代である。此の時代になると男子は數多の玉石を拾集して、孔を穿け、緒に貫いて、それを心ある婦人の首に掛けて遣るやうになつた。これは慥かに女性の心理を纖細に理解して來た徴候である。宛も雄孔雀が雌孔雀の前でその美麗な尾を展げて見るやうに、また、雄蟹が雌蟹の前で根限り舞踏して見せるやうに、男子は女子の甘心を買はんが爲め夢中になつて寶石を探したものに違ひない。

石器時代の後は云ふまでもなく銅器時代である。

此の時代の人々は最早お追從を言ふ事を覺えてゐるそして盛んに之を振撒いた。早い話があの希臘のオデイセイである。彼は王女アルテミダの面前で。

「地上の人の間には

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

かばかり美しきものあらじ。
我が眼は未だ見ざりしを………』

と歌つて居る。勿論彼女は女神とされてゐるけれどもアルテミダは矢張アルテミダで即ちゼウエスの娘であつた。オデイセイ自らも彼女を目して通常のあどけない少女――美しい殿御を夢見てゐる女性と觀察して居るのである。軈て彼を載せた船が海原遠く立ち行く時その後追うて兩手を差伸ばしさめ〴〵泣いたのは即ちアルテミダであつた。

此の時からして諧調のある。讃美の聲は地上に響いて止まないのである。此の讃美を單に語らないで歌に歌ふ時には『ローマンス』と名づけられる………。

中世紀になると此の讃美を口にするばかりでは滿足せず之を事實に表現しなければならなくなつた。若しも自分の崇敬する婦人に向つて『御身は天下にまたとない……』と言つた以上は、此の言葉を何處何處までも立證する爲に何物をも辭する事は出來なかつた。彼の猶太の分邦の君イロドは宴會の席上に於てイロデアダの娘に舞を強ひて『何でも願ふ所を聽くから』と約した。すると、娘は淺間しくも預言者イオアンの首を銀の皿に盛つて給へと言つたのである。イロド王は内心いたく預言者を畏れて居つたけれど約束には背き兼ねて終に女の願ひ通りにして遣つた。これは誰しも知つて居る有名な話であるが、尚、中世紀の騎士が婦人に對して如何に絶大な尊敬と愛護とを拂つてゐたかは歴史を繙けば直ちに眼に留まる事である。彼等が婦人を愛護したのは、單なるセックスの上の愛護ではなくて、弱者を憐れみ強者を挫くといふ武士道的の意味が多量に加はつた愛護であつた。

近代に於ける女性愛護の特徴は先づ誘拐的な事と娯樂的な事とがその主なるものである。誘拐的手段はそれとして、娯樂的手段を一寸摘んで言ふと、これは最も單純なそして面白い方法で、――即ち汽車、汽船、自働車といふやうな乘物に同乘してなるべく多く乘廻るのである。もつと好いのはスケーチングで互に手を取りかはした儘だん〳〵だん〳〵迅く走るのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

そして居て語り合へばどんな事を言うても互に振拂ふ事は出來ない、振拂へば自分がばつたり倒れて了ふからである。西洋では飛行機に乘る事や探險登山なども斯うした目的に應用されるといふ事である。

斯の如く女性愛護は實に幾多の形式を脫ぎ換へて今日に至つた。併し其の根本的特質乃至本然の相といふものは依然として變らないのである。だから現今の女性愛護者の間にも常に石器時代若くば銅器時代の人々を發見するばかりか、穴居時代のタイプをさへ認める事が往々ある。（ノーウォエ・ウレーミヤの中から）

婦人の婦人研究

ミトリ

一體婦人問題の研究は主として婦人自身の爲すべきもので男子に一任すべきものではない。婦人は元より良妻賢母たらねばならぬが、併し今の時勢は、悉くの婦人が只良妻賢母たるのみなるを許さない。眞に精神的活動的婦人の出現せんことを要求して止まない。然かるに今やソンナ雄々しい婦人が殆んどない。之れ誠に嘆しいことである。

偶々出版さるゝ婦人研究の書物にしても、多くは之れ男子の手に成つたものであるから、自然其の見解の誤れるものが少くない。中には餘程熱心に研究して婦人の爲めに盡さるゝ特志の人がないでもないが、婦人に關する問題は婦人自身が爲さざれば眞價は得がたい。眞の婦人を解するは婦人其のもの同性其のものならねばならぬ。男子の書きたる男子の誤れる思想もて、婦人を律せんとするのは、例へば婦人の生理を知らざる男子の體操教師が、無理なる運動を婦人に強いて、婦人の健康を害すると同樣である。然かるに本邦の婦人にして婦人の心理を研究して其の結果を發表したものが未だ一人もないのは遺憾なことではないか。

私は婦人自から婦人を研究して同性の爲めに血の海を渡るの苦をも厭はで、盡すと云ふことは、今日私共の爲さればならぬ最大の任務であると確信する。

起てよ婦人諸氏。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

個人消息

△中尾清太郎氏 「聖書日日實行訓」と云ふものを著はして、聖書の精粹を日訓に割り當て、チチアンやエラスクエスの名畫を挿んで、宗教的な藝術的な本を。近日銀座書房から出されると。詳細は拜見した上で、紹介致しましよう。

△座古愛子氏 毎々新眞婦人有難く存じ申候。

扨先達の拙文の續きを書き終らんと致しなり候折柄自宅に在りし私の父近所の醉漢の爲に腦と顔面を打たれ（本月十日の朝）即死致し候樣な出來事にあひて文章八分どころにて筆を止めあり候が若き日の二時間と題をかへて後日改めて書き度と存じなり候が左樣の次第にて一時中止仕り度候間不惡思召被下度候。

そばになりし母にも打ちかかりて額部に骨まくに達する重傷を負はせ候ひしも此方は一命丈とりとめ申候此悲報の使者まゐり候ひし故俥を飛ばせて馳せかへり候時は早父は世に亡き人と相成母も經過すれば命もあやふからんとの事にて十一針縫ひしところに候ひき其驚きと悲しみの程御察し被下度候打ちし醉漢は其場よりひかれて十數日未決監に居り候が發狂者との見込みにて狂人病院へ送られ告訴致さんにも不起訴と相成全く犬に噛まれし樣な次第にて二十歲になる妹一人母の看護をなしなり申候父は七十三歲の高齢に候しも仲々達者にて百歲迄も生るとの自信を以て毎日よく働きて一家を支へなられ候ひしに突然かゝる災難に横死をとげられ候事子として一生忘れられぬうらみに御座候心身の疲れに食事もろく／＼いたさず候しが今日少々元氣付き申候右の次第にて拙文一時中止の段御ゆるし被下度候。

御主人樣に宜しく御傳へ被下度候。

△多川樣より 日增しに秋深く相成申候其後は心にもなき御無音に打過候だん御ゆるし被下度候御誌新眞婦人にて益々御健筆をふるはせ給ふを拜しはるかに慶賀申上候扨て毎々貴誌御惠贈にあつかりありがたく御禮申上候此頃はひたすら子供にかまけ居り何方へも御沙汰致し殊に御許樣へはいろ／＼御厚情を受け乍ら不義理を重ねなり心苦しく思ひ居り候就ては何か私に叶ふ事ならば御報恩申上度と存じ居候例の拙なき文章（折にふれての）などならば育兒のひまに出來ぬ事もなく候へども却て貴誌を御汚すのみとさしひかへ居り候かの俳句は私事不勉強の爲不振と相成申譯なき樣感ぜられ候全く私は俳句の選者いたす技量は無之かつ拙劣なる句を皆樣に御目に掛る事の汗顔の至りに堪へず候間成可く御免を蒙り度と存じ候尙ほいつぞや御大切の御本を長々と拜借いたし有難存候其後御禮旁々一度是非參上致されば相成らずと存じ乍ら今日まで打過し候かゝる横着者をも御見捨なく何卒尙御指導の程御願申上候數月前の御誌に記されしストーナ夫人の一子ウイニフレンドとやらの記事即ち珍らしき神童の事面白く拜見致し候御良人樣御專人種改善學の御造詣深くゐらせられ候由私事此ストーナ夫人の教育法及近來流行するモンテソリー式教育法に興味を持ち調べて見度くと存候が適當の書を邦文にて御教示下さるやう御願ひ下されまじく候や又いつぞや拜借致し候育兒に關する書の外に何か有益なもの有之候はゞ何卒御借し被下度御恩情に甘へいろ／＼勝手がましき御願を申上候。

先は右御ぶさた御わび旁々申上候おひ／＼御寒く相成候間御自愛の程いり上候。

かしこ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

西川光次郎主筆

自働道話

平易簡明に、實践道徳、新道徳を説く雜誌にして、十一月號の要目左の如し

△擴張運動を開始するに際し、再び本誌の主張を説く△根本は精神の問題△斷食療法の歴史△誘惑論△疲勞した時には△身體を眞直にせば健康になる(西川光次郎)△科學的運命觀(西村卜堂)△淘宮瑣言(竹内師水)△闘愛天君より△新妙好人傳(一)

▲四六倍形八頁
▲一部郵税共二錢五厘
▲一年同卅錢
▲毎月十日發行

新眞婦人社

新眞婦人合本
合本第二卷

(自一號至十二號) 定價郵税共一圓

(自十三號至二十四號) 同

御來社の方々へ

平常は多忙で切角お出下されても、失禮勝ですから、成るべく日曜日に御出で下さい。日曜日には、止むを得ざる場合の外は、外出しませんから (文子)

本社の相談部

▲本社内に相談部を設け

(1) 職業を求むる御婦人
(2) 職業の選擇に迷ふ御婦人
(3) 家庭及び一身上に苦悶ある御婦人
(4) 結婚の事

等の御相談に應じます

▲相談部の主任に面會したき御婦人は、午後四時より御出で下さい。

なほ右の件につき手紙で御相談下されば、誌上で御答へすることにいたします。

新眞婦人定價表(毎月一回一日發行)

一冊(郵税共)	拾壹錢
半年分(郵税共前金)	六拾錢
一年分(郵税共前金)	壹圓拾錢

御注意 ●註文は總て前金の事前金盡くれば必ず「盡」の一字を朱にて帶封に認む直に送金なき時は發送を停止す●郵券代用は壹錢又は五厘切手にて一割増

◎新眞婦人廣告料 特別面三十圓、一等廿五圓、二等二十圓、普通面十五圓、木版を要するものは別に實費を申受くべし

大正四年十一月廿八日印刷納本
大正四年十二月一日發行

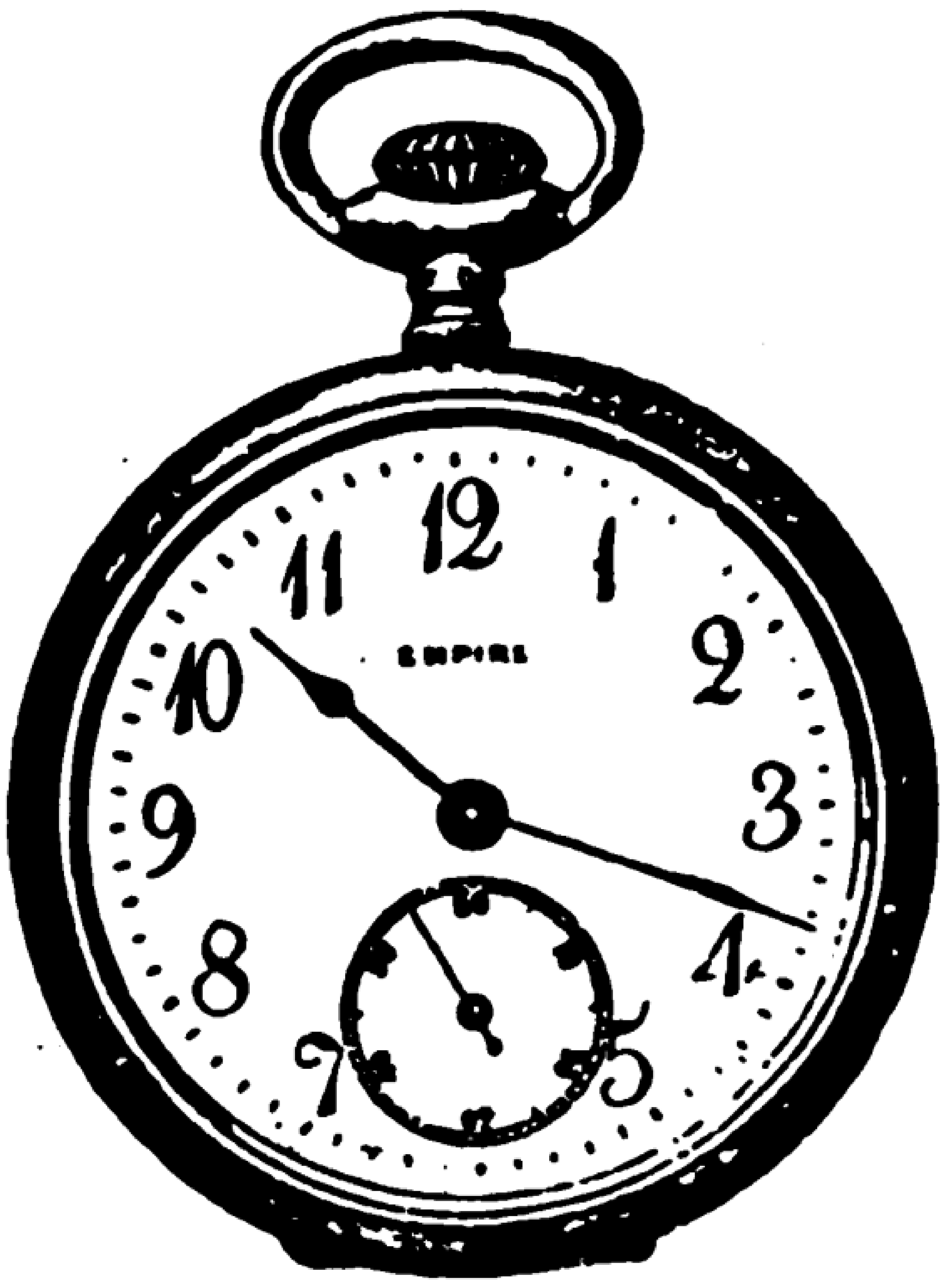
發行兼編輯人及印刷人 本郷區駒込動坂町三二七番地 西川文子

印刷所 本所區番場町四番地 凸版印刷株式會社分工場

東京市本郷區駒込動坂三二七 新眞婦人社 郵便振替貯金口座東京(二四五五六)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

營業品概要



精工舍製懷中時計
歐米製各種時計類
双眼鏡及各種眼鏡
測量用諸器械一式
製圖器度器及附屬
氣象用航海用器械
プラチナ地金及製品
ダイヤモンド及諸寶石
貴金屬製諸美術品
寶石入各種裝身具

東京銀座四丁目

服部時計店

電話京橋長 一三〇〇 一三〇一 一三〇二 一三二三 一八〇〇

營業一覽御申越次第郵送可致候

振替貯金口座東京二九八〇番

新眞婦人第三十二號
大正二年四月二十六日第三種郵便物認可
大正四年十一月二十八日印刷納本
大正四年十二月一日發行（毎月一回一日發行）
定價金拾錢

クリスマスの
贈り物に
お歳暮に
お年玉に
これが宜しうございます

Absolutely Pure and Greatly Economical Soap is "Lion."

T. KOBAYASHI & Co.,
KANDA, TOKYO.